

## 事務事業評価調書

事務事業名	やむを得ない措置事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和38年度	改正内容	吹田市老人福祉法施行細則の改正(居宅における介護等の措置に係る改正)											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	老人福祉法、吹田市老人福祉法施行細則、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	やむを得ない事由により、介護保険法に規定する施設サービスを利用することが著しく困難であると認められる者。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	心身の状況、その置かれている環境等に応じて自立した日常生活を営むために、最も適切な支援が総合的に受けられるようにする。												
	高齢者の生活の質を高め、福祉の増進を図る。													
(7) 事業概要	市内に在住する65歳以上の者であって、本人が家族等の虐待又は無視を受けている場合や家族等がなく認知症その他の理由で意思能力が乏しい場合に、介護保険法に規定する施設サービスを供与する措置をとります。なお、そのサービスに係る費用については所得に応じた負担金を徴収します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	11	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		344	261	335	388	335							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		1,174	1,056	1,171	1,224	1,152							
	特定財源(C)		0	175	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	175	0	0	0						
	市負担(D)		1,174	881	1,171	1,224	1,152							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,174	881	1,171	1,224	1,152								
財源計(C+D)		1,174	1,056	1,171	1,224	1,152								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	老人福祉施設										
			②											
			③											
	主な委託内容		緊急一時的な措置として行う施設入所											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	被措置者数	目標値	(単位:人)	1.00	1.00	1.00
			実績値	(単位:人)	2.00	3.00		
		達成度(%)		200.0	300.0			
	目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	528.00	408.00	408.00	
				一般財源(単位:千円)	440.50	408.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難 指標 などで 示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	虐待等の事由により、介護保険法のサービスを利用することが困難な高齢者に介護保険法に規定するサービスを供与する事業であり、心身の状況や置かれている環境に対して、必要な支援を行う施策。			達成状況	平成27年度においても、高齢者虐待のケース等に対して入所措置、居宅における介護等の措置を行いました。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	老人福祉法において、市町村が実施主体であると規定される法定事業であり、やむを得ない事由により、介護保険法に規定する施設サービスを利用することが著しく困難である高齢者を保護するため、必要な措置事業です。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	やむを得ない措置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00423				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00423
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

やむを得ない措置については、これまでは、高齢者虐待への対応が主でありましたが、近年は認知症等により住居が不明である高齢者を本事業で対応する事例が発生するなど、高齢者の保護を必要とする実態が多様となっています。今後、高齢者の増加に伴い認知症高齢者も増加し、身元不明者への対応も増えていくことが想定されるため、平成26年度に、居宅における介護等の措置(ショートステイ等)にも対応できるように吹田市老人福祉法施行細則の改正を行いました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度では、原則として、サービス利用者とサービス事業者との関係は、契約に基づくものとなりますが、本施策は、要介護認定の申請・契約利用等が困難な者に対して、行政機関による措置を行うためのものです。</p> <p>吹田市老人福祉法施行細則では、老人ホームへの入所等の措置についての定めはありますが、在宅サービスを措置で行うことの定めがありませんでしたので、平成26年4月1日付で、吹田市老人福祉法施行細則を改正し、老人ホームへの入所等の措置に加え、短期入所生活介護サービス等居宅における介護等措置を行うことを規定しました。実際にそのサービス類型での措置が行われました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年2月25日開催の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料に、「都道府県の市町村支援として、虐待を受けた高齢者の緊急・一時的な避難場所の確保について広域的な観点から支援する」旨の記載があります。

## 事務事業評価調書

事務事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	吹田市徘徊高齢者家族支援サービス事業実施要綱						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 2	細節 20			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	おおむね65歳以上の徘徊のみられる認知症高齢者の同居家族					
		目標(どういう状態にしたいのか)	位置検索システム端末機械を貸し出すことにより、行方不明になった徘徊高齢者の居場所を家族が検索できる。					
	結果(どのような効果が得られるのか)	徘徊高齢者の安全を確保するとともに、その家族の負担軽減を図り、安心して生活できる環境をつくることにつながる。						
(7)	事業概要	対象者に徘徊高齢者位置検索システム専用端末機及び専用充電器等を貸し出し、端末機を徘徊高齢者に携帯されることにより、徘徊高齢者が行方不明になったときに、対象者からの電話依頼やパソコンによる検索で端末機を利用した位置検索システムにより徘徊高齢者の現在位置を特定するものです。						
(8)	H27事業別予算コード	会計 12	款 5	項 2	目 1	大事業 3	中事業 7	小事業 2
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		450	451	486	464	503
		人件費	職員数 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
			総額(B) 千円	856	815	901	901	884
		総事業費(A+B)		1,306	1,266	1,387	1,365	1,387
		特定財源(C)		1,048	1,177	1,117	1,099	1,289
		(内訳)	国	516	472	541	532	541
			府	258	236	270	266	270
			その他	274	469	306	301	478
		市負担(D)		258	89	270	266	98
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		89	0	0	98		
一般財源	258		0	270	266	0		
財源計(C+D)		1,306	1,266	1,387	1,365	1,387		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	セコム株式会社			
				②				
				③				
		主な委託内容		機器の貸し出し 徘徊高齢者の位置探索				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 利用者数 (年度末)	目標値	(単位:人)	27.00	29.00	30.00
			実績値	(単位:人)	31.00	32.00	/
		達成度(%)		114.8	110.3		
	目標値の積算方法 予算積算基礎より	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	40.87	42.66		
			一般財源(単位:千円)	6.52	8.31		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 延べ実利用月数	目標値	(単位:月)	324.00	324.00
	実績値			(単位:月)	298.00	384.00	/
	達成度(%)		92.0	118.5			
	目標値の積算方法 予算積算基礎より	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.25	3.55		
			一般財源(単位:千円)	0.68	0.69		
	②	指標内容 位置検索回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:回)	95.00	73.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法 利用者の状況(徘徊行動の程度等)により、位置検索回数は個人差が大きく、目標設定が困難である。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	13.34	18.70		
			一般財源(単位:千円)	2.13	3.64		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		認知症高齢者の増加に伴い、本人の安全確保はもとより、家族の介護負担の軽減が見込まれるため、本事業の必要性は高く、また、代替となるサービスがないため、継続する必要があります。 認知症高齢者支援の推進を図るため、徘徊高齢者SOSネットワーク事業、認知症地域サポート事業との連携を強め、事業効果の向上に努めています。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00424				

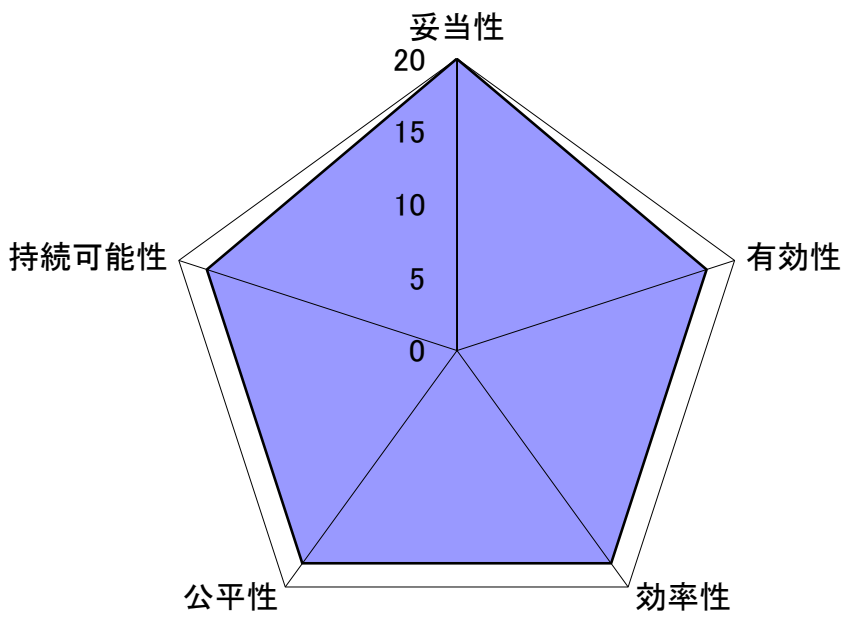
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00424
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小型の電波発信機を携帯することにより不明者の位置探索を行うもので、ニーズは増加しています。認知症地域サポート事業、徘徊高齢者SOSネットワーク事業との連携にも一層努めていく必要があります。また、携帯機器の小型化・軽量化が進んできているため、その情報収集を行い、利用しやすい端末について検討を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	福祉事業に係る診断料助成事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和60年度	改正 内容	生活保護受給者を対象から外す。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市福祉サービスに係る診断料助成金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	本市に居住する生活保護受給者以外の者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	福祉事業及び介護保険事業の利用申請に伴う経済的負担を軽減します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	福祉施策の利用を促進し、福祉の増進を図ります。													
(7)	事業概要	本市に居住する生活保護受給者以外の者の福祉事業及び介護保険事業の利用申請のために要した健康診断料の全部又は一部を助成します。 ①養護老人ホーム入所措置 ②短期入所生活介護(市内の施設に限る) ③介護老人保健施設入所(市内の施設に限る) ④介護老人福祉施設入所(市内の施設に限る)。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		13,736	9,889	13,400	13,400	10,963							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.50						
			総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	4,085						
		総事業費(A+B)		16,226	12,274	15,906	15,906	15,048							
		特定財源(C)		0	14	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	14	0	0	0							
		市負担(D)		16,226	12,259	15,906	15,906	15,048							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	16,226		12,259	15,906	15,906	15,048									
財源計(C+D)		16,226	12,273	15,906	15,906	15,048									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(一社)吹田市医師会										
				②											
				③											
		主な委託内容		健康診断の実施及び診断書作成											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 対象件数	目標値	(単位:件)	689.00	689.00	690.00
			実績値	(単位:件)	642.00	618.00	
		達成度(%)		93.2	89.7		
	目標値の積算方法 前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		22.53	25.74	
			一般財源(単位:千円)		22.53	25.74	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 な 場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標			
	②	成果内容	福祉事業及び介護保険事業の利用申請に伴う経済的負担を軽減することにより、福祉サービスの利用を促進しています。	達成状況	達成できています。		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	施設利用に伴う健康診断料を助成し、円滑な介護サービス等の利用を促す本事業は、毎年対象件数が多く、市民ニーズが高い事業です。 ただし、現在は、生活保護受給者を除く、すべての市民が対象となっています。 今後、事業を継続していくためには、負担能力のある課税世帯を対象から外すなど、所得制限を設け、より低所得者に特化した事業へと変えていく必要がありますが、所得制限を設けると、事業の実施方法が変わることになり、利用者および職員の手間が増える可能性があります。そのため、現在の実施方法で事業を継続しながら、市民サービスが低下しないような、事業実施方法を検討していきたいと考えております。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	福祉事業に係る診断料助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00425				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00425
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設利用等に必要な診断料は高齢者にとって、経済的負担となっており、施設利用等を手控えさせる要因であることから必要な事業ですが、事業を継続させるためには、所得制限を設けるなど、対象者の見直しが必要。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	国保連合会共同電算処理事務事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正 内容	電算処理手数料の見直し											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	介護保険の保険者に共通する処理業務												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保険給付の審査等を一元処理します。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	事務の効率化を図ります。												
(7)	事業概要	居宅介護支援事業所から提出される給付管理表と、市から提出している受給者台帳にて、サービス事業者が請求を行う介護報酬請求書との審査業務を行っている大阪府国民健康保険団体連合会へ、手数料を支払います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	1	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,503	2,266	2,636	2,636	2,779							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,568	2,445	2,701	2,701	2,651						
		総事業費(A+B)		5,071	4,711	5,337	5,337	5,430							
		特定財源(C)		0	2,445	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	2,445	0	0	0						
		市負担(D)		5,071	2,266	5,337	5,337	5,430							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		5,071	2,266	5,337	5,337	5,430						
			一般財源		0	0	0	0	0						
財源計(C+D)		5,071	4,711	5,337	5,337	5,430									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
				②											
				③											
		主な委託内容		介護給付費の審査及び支払に関する業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	基本処理件数	目標値	(単位:件)	401,052.00	438,758.00	/
			実績値	(単位:件)	401,822.00	427,889.00		
		達成度(%)			100.2	97.5		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	国保連合会に業務委託することにより、市の支払事務の効率化を図っています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		国保連合会に業務委託することにより、市の支払事務の効率化を図ることができます。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	国保連合会共同電算処理事務事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00426				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00426
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険の給付はサービス事業者からの請求を大阪府国民健康保険団体連合会で審査業務を行うことにより効率化を図っていることから必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	電算保守事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険システム											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護保険事務の効率的・円滑な運営												
(7) 事業概要	介護保険システムで使用しているサーバー機及びクライアント機などのシステム関係機器とソフトウェアに関する保守													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	1	項	1	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		20,092	20,091	20,092	20,092	20,140							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60						
		総額(B)	千円	5,135	4,890	5,402	5,402	5,301						
	総事業費(A+B)		25,227	24,981	25,494	25,494	25,441							
	特定財源(C)		0	4,889	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	4,889	0	0	0							
	市負担(D)		25,227	20,091	25,494	25,494	25,441							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	25,227	20,091	25,494	25,494	25,441							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		25,227	24,980	25,494	25,494	25,441								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社日立製作所 関西支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護保険システムの保守管理											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	介護保険第1号被保険者数	目標値	(単位:人)	80,693.00	82,980.00	/
			実績値	(単位:人)	82,197.00	84,632.00		
		達成度(%)				101.9	102.0	
	目標値の積算方法	第6期介護保険事業計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.30	0.30	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	介護保険システムの保守管理により、安定したシステムの稼働を実現し、介護保険事務の効率的・円滑な運営を行っています。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険事務の効率的・円滑な運営に業務の委託が必要となっています。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	電算保守事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00427				

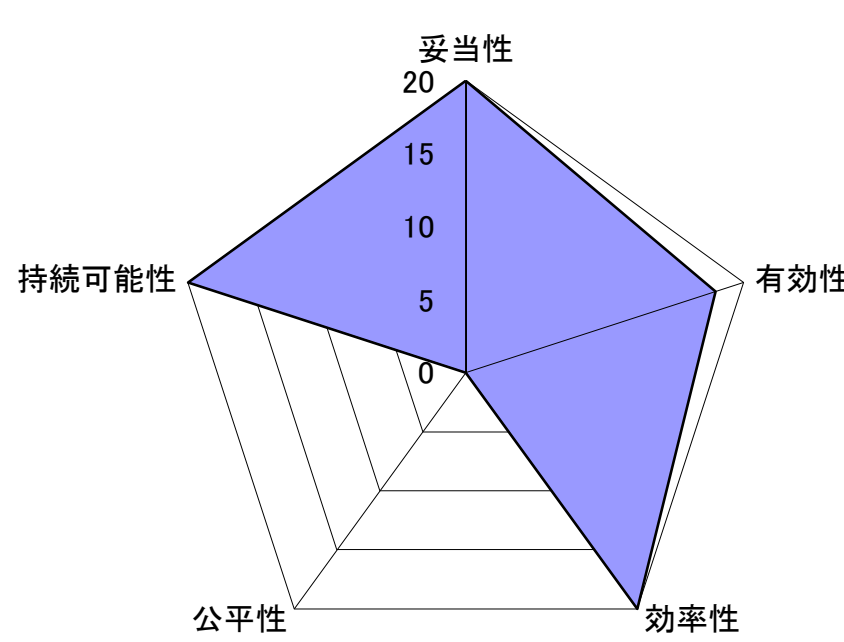
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00427
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays the following scores for each category:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妥当性 (Appropriateness): 20</li> <li>有効性 (Effectiveness): 15</li> <li>効率性 (Efficiency): 10</li> <li>公平性 (Fairness): 5</li> <li>持続可能性 (Sustainability): 5</li> </ul>		
(3)現状分析	<p>介護保険の資格管理から給付管理まで電算システム化しており、業務上必須のシステムであり、適切な保守管理が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護保険システム改修事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正内容	介護報酬改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険システム											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護保険事務の効率的・円滑な運営												
(7) 事業概要	介護保険システムで使用しているサーバー機及びクライアント機などのシステム関係機器とソフトウェアに関する改修事業													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	1	項	1	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		40,025	40,025	111,118	111,118	15,026							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.25	0.25	0.25						
		総額(B)	千円	2,568	2,445	2,251	2,251	2,209						
	総事業費(A+B)		42,593	42,470	113,369	113,369	17,235							
	特定財源(C)		0	16,404	0	9,000	0							
	(内訳)	国	0	13,959	0	9,000	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	2,445	0	0	0							
	市負担(D)		42,593	26,066	113,369	104,369	17,235							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	42,593	26,066	113,369	104,369	17,235							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		42,593	42,470	113,369	113,369	17,235								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社日立製作所 関西支社										
			②											
			③											
	主な委託内容		システム改修											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	介護保険第1号被保険者数	目標値	(単位:人)	80,693.00	82,980.00	/
			実績値	(単位:人)	82,197.00	84,632.00		
				達成度(%)		101.9	102.0	
	目標値の積算方法	第6期介護保険事業計画値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.52	1.34	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
③	活動内容					目標		
	成果内容	法改正等対応のための介護保険システムの改修により、システムの適正な稼働を実現し、介護保険事務の効率的・円滑な運営を行っています。				達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	介護保険事務の効率的・円滑な運営に業務の委託が必要となっています。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護保険システム改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00428				

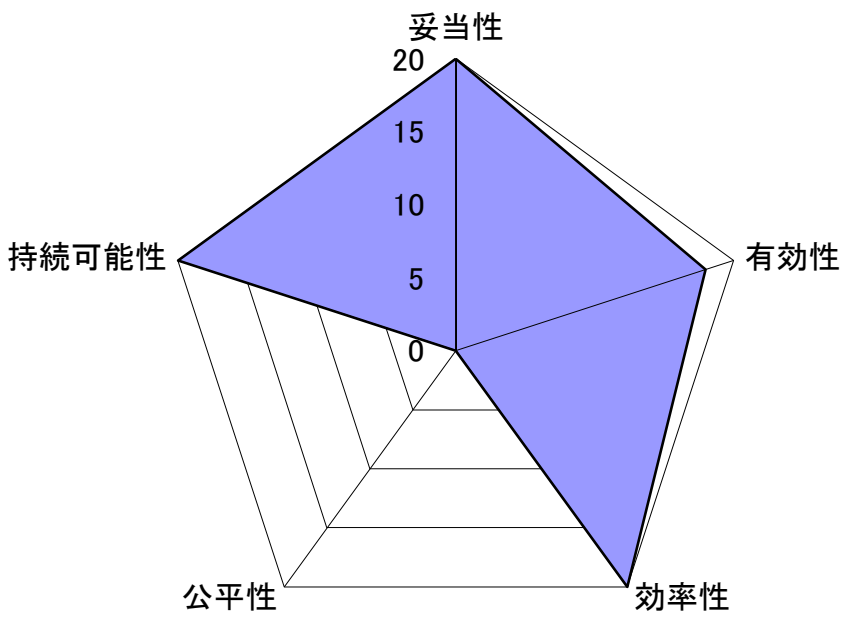
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00428
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>業務上必須のシステムについて、法改正、制度改正に柔軟に対応するために適切なシステム改修が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

法改正対応、マイナンバー制度対応のシステム改修が必要です。



## 事務事業評価調書

事務事業名	賦課徴収事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正 内容	介護保険料の改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法、吹田市介護保険条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	介護保険の第1号被保険者(65歳以上の人)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	第1号被保険者に対し、介護保険料の適正な賦課及び徴収を行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護保険運営の財源確保													
(7)	事業概要	第1号被保険者(65歳以上)の介護保険料について、保険料決定通知書や納付通知書の発送など保険料の賦課及び督促状の発送や口座振替など保険料収納の業務を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	1	項	2	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		29,973	29,380	32,433	32,433	29,038							
		人件費	職員数	人	6.00	6.00	5.00	5.00	6.00						
			総額(B)	千円	51,348	48,894	45,015	45,015	53,010						
		総事業費(A+B)		81,321	78,274	77,448	77,448	82,048							
		特定財源(C)		617	49,504	603	603	53,628							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		617	49,504	603	603	53,628						
		市負担(D)		80,704	28,770	76,845	76,845	28,420							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		80,704	28,770	76,845	76,845	28,420						
一般財源			0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		81,321	78,274	77,448	77,448	82,048									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	第1号被保険者保険料	目標値	(単位:千円)	4,961,463.00	5,552,550.00	5,395,173.00
			実績値	(単位:千円)	4,842,800.00	5,317,646.00		
		達成度(%)				97.6	95.8	
	目標値の積算方法	第1号被保険者数の推計により積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.02	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	第1号被保険者に対し介護保険料の適正な賦課及び徴収を行い、介護保険運営のための財源の確保をします。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	介護保険制度の運営主体は、介護保険法の規定により、市町村と定められており、介護保険制度運営のため、介護保険料の賦課徴収業務を行う必要があります。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	賦課徴収事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00429				

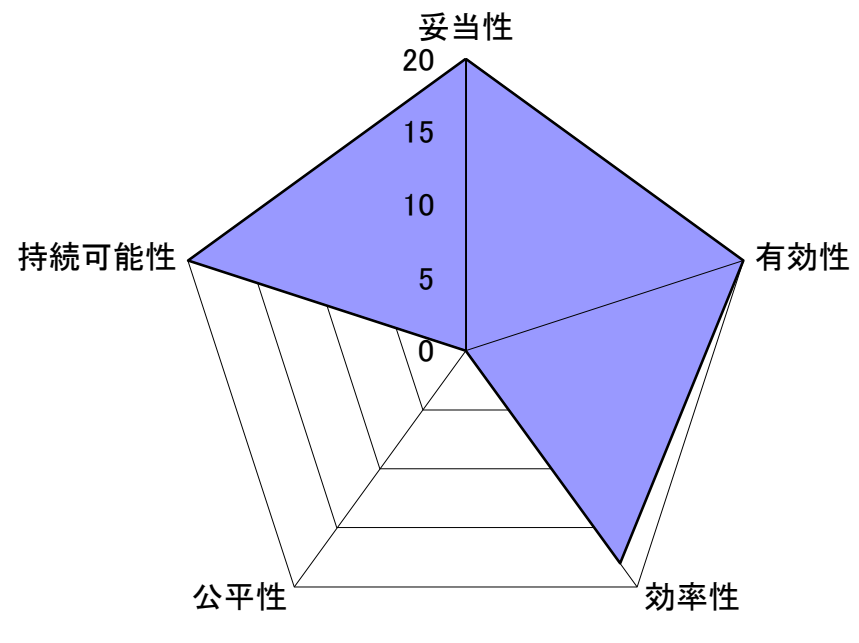
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00429
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度は、介護を社会全体で支えるしくみとして、制度発足し、介護保険法により市町村が運営している。また、社会保険方式を取り入れており、介護給付費の22%は第1号被保険者(65歳以上の方)が負担するという制度設計が介護保険法等により規定されています。</p> <p>この負担分については、第1号被保険者に対し保険料として負担を求めるため、介護保険料の賦課・徴収を行い、介護保険制度運営の財源確保を図るためには、本事業を実施する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、低所得者に対するの公費による保険料軽減が実施されました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護認定審査会事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正 内容	要介護認定等の見直し											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法、吹田市介護保険条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	被保険者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	全国一律の基準に基づき、公平・公正な審査判定の実施による要介護認定を行います。												
(7) 事業概要	要介護認定調査票、特記事項、主治医意見書等の審査会資料に基づく介護認定審査会の運営に関する事業													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	1	項	3	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		149,551	130,277	156,210	156,210	158,018							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	17,116	16,298	18,006	18,006	17,670						
	総事業費(A+B)		166,667	146,575	174,216	174,216	175,688							
	特定財源(C)		58	16,331	57	57	17,728							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	58	16,331	57	57	17,728							
	市負担(D)		166,609	130,244	174,159	174,159	157,960							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	166,609	130,244	174,159	174,159	157,960							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		166,667	146,575	174,216	174,216	175,688								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 要介護・要支援認定申請件数	目標値	(単位:件)	17,579.00	17,960.00	18,458.00
			実績値	(単位:件)	15,790.00	16,800.00	/
		達成度(%)		89.8	93.5		
	目標値の積算方法 申請者数の伸びを参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.28	10.37		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護認定審査会において、公平・公正な審査判定の実施による要介護認定を行うことにより、適切な介護サービスの利用につなげています。			達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	認定審査会の運営主体は、介護保険法及び吹田市介護保険条例等の規定により、市町村と定められており、実施しなければならないものです。平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、対象者の見直しを行います。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護認定審査会事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00430				

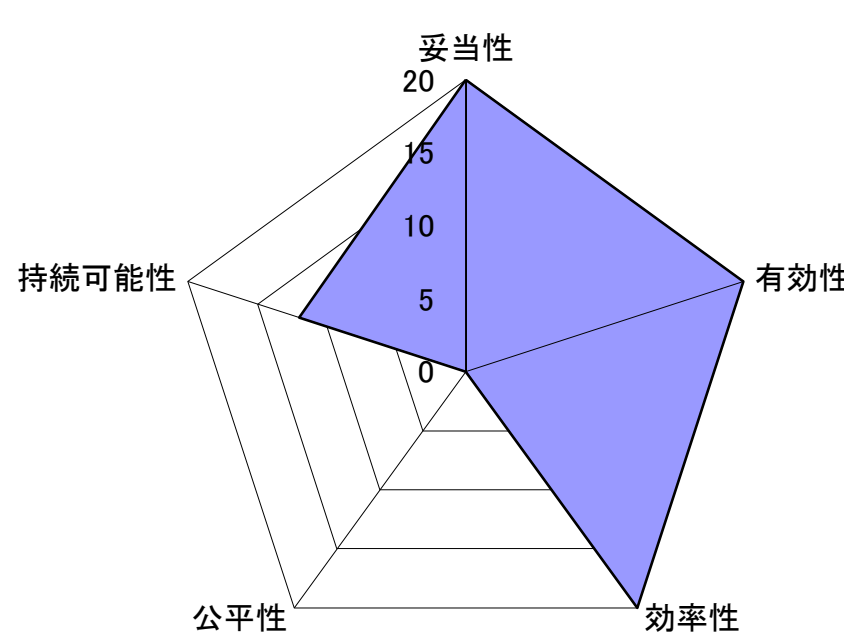
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
a. 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00430
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められており、要介護度の審査判定を全国一律基準で、常に公平・公正に実施するように努めています。</p> <p>平成25年度(2013年度)から、合議体の構成を変更し、1合議体あたりの委員数を5人から4人とし、1合議体で行う審査件数は概ね20件から30件としている。審査会をできるだけ開催し、申請者の認定結果をできるだけ早く通知できるようにしています。</p> <p>1合議体の委員数を1名減らすことにより、委員報酬を減らすことには貢献できますが、2名欠席で審査会が中止となるため、委員出席確保が課題です。審査会開催決定後に審査会委員欠席による中止も発生しており、対象者には結果通知発送が遅れるというリスクを負ってもらうケースが増えています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	認定調査等事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成11年度	改正 内容	認定調査員テキストの改訂											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	介護保険の認定申請者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	申請に基づき、市もしくは事業者が被保険者の要介護・要支援認定を行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適正な要介護・要支援認定を行うことができます。													
(7)	事業概要	被保険者からの申請に基づき、介護認定審査会における要介護・要支援認定を行うための調査及び一部委託をしている調査が適正に実施されているか点検を行います。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	1	項	3	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		88,318	81,925	96,120	96,120	98,458							
		人件費	職員数	人	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20						
			総額(B)	千円	27,386	26,077	28,810	28,810	28,272						
		総事業費(A+B)		115,704	108,002	124,930	124,930	126,730							
		特定財源(C)		248	26,253	253	253	28,526							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	248	26,253	253	253	28,526							
		市負担(D)		115,456	81,749	124,677	124,677	98,204							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	115,456	81,749	124,677	124,677	98,204							
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		115,704	108,002	124,930	124,930	126,730									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	居宅介護支援事業所ほか										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				更新申請に係る要介護・要支援認定調査							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	調査件数	目標値	(単位:件)	17,481.00	18,189.00	18,647.00
			実績値	(単位:件)	16,251.00	16,486.00	/	
		達成度(%)			93.0	90.6		
	目標値の積算方法	前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.65		7.58
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	公平・公正な審査判定が行えるよう、平準化した調査を実施することで、適正な介護サービスの利用につながっています。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護を必要とする高齢者等が、介護保険の給付を受けるための前提になるものであり、公平かつ公正な保険給付を行うとともに、介護保険制度の基礎を支えています。平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、対象者の見直しを行います。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認定調査等事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00431				

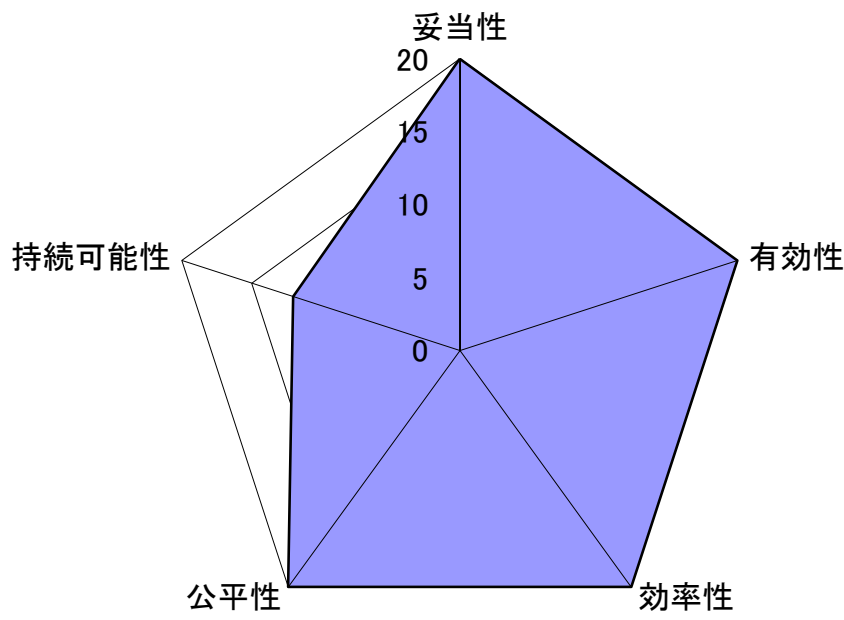
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
⑤持続可能性 (20点)	12			
評価点合計 (100点満点)		92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00431
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays the following scores for each dimension:</p> <table border="1"> <tr><th>視点</th><th>点数</th></tr> <tr><td>妥当性</td><td>20</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>15</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>10</td></tr> <tr><td>公平性</td><td>5</td></tr> <tr><td>持続可能性</td><td>5</td></tr> </table>			視点	点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められている要介護度の審査判定を行うための調査であり、全国一律の調査ですが、常に公平・公正な審査判定が行えるような調査を実施し、わかりやすい調査結果が介護認定審査会に提供できるように努めています。 調査の標準化を図るため、調査受託業者に対する研修を行い、一定の改善がみられました。 今後も受託先に対する指導の強化が必要です。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	居宅介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護サービスを利用された要介護者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようにします。												
(7) 事業概要	要介護者が利用する居宅介護事業所等に対して、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		10,298,683	9,649,190	10,050,376	10,050,376	10,934,976							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,279	4,075	4,502	4,502	4,418						
	総事業費(A+B)		10,302,962	9,653,265	10,054,878	10,054,878	10,939,394							
	特定財源(C)		9,011,347	8,428,937	8,798,581	8,798,581	9,465,128							
	(内訳)	国	2,327,070	2,205,474	2,275,391	2,275,391	2,514,083							
		府	1,353,679	1,260,742	1,315,609	1,315,609	1,427,976							
		その他	5,330,598	4,962,721	5,207,581	5,207,581	5,523,069							
	市負担(D)		1,291,615	1,224,328	1,256,297	1,256,297	1,474,266							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		1,291,615	1,224,328	1,256,297	1,256,297	1,474,266								
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		10,302,962	9,653,265	10,054,878	10,054,878	10,939,394								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	10,298,683.00	10,050,376.00	10,934,976.00
			実績値	(単位:千円)	9,649,190.00	9,957,266.00		
		達成度(%)			93.7	99.1		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.01	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	居宅介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00432				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00432
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要介護者が地域で生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	施設介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	施設サービスを利用された要介護者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようになります。												
(7) 事業概要	要介護者が入所する介護保険施設に対して、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,735,452	5,567,224	5,814,722	5,814,722	6,200,675							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,279	4,075	4,502	4,502	4,418						
	総事業費(A+B)		5,739,731	5,571,299	5,819,224	5,819,224	6,205,093							
	特定財源(C)		5,018,520	4,863,227	5,087,882	5,087,882	5,369,111							
	(内訳)	国	1,063,926	1,030,367	1,078,630	1,078,630	1,150,225							
		府	1,003,704	974,264	1,017,576	1,017,576	1,085,118							
		その他	2,950,890	2,858,596	2,991,676	2,991,676	3,133,768							
	市負担(D)		721,211	708,072	731,342	731,342	835,982							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	721,211	708,071	731,342	731,342	835,982							
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		5,739,731	5,571,299	5,819,224	5,819,224	6,205,093								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払い業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 給付費	目標値	(単位:千円)	5,735,452.00	5,814,772.00	6,200,675.00
			実績値	(単位:千円)	5,567,224.00	5,717,103.00	
		達成度(%)		97.1	98.3		
	目標値の積算方法 前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.02		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
③	活動内容				目標		
		介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	施設介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00433				

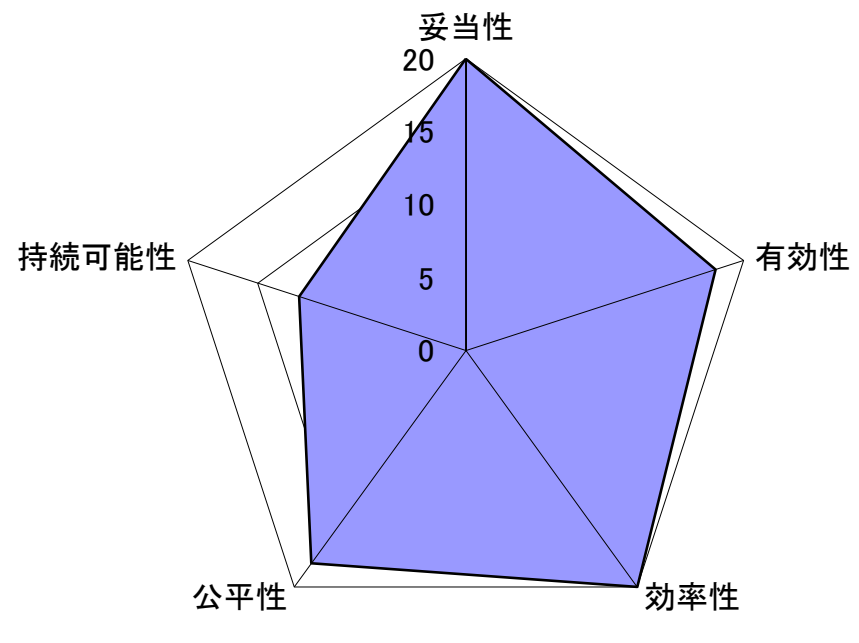
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00433
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要介護者が地域で生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。  
 さらに特別養護老人ホームへの新規入居者の要件が原則要介護3以上とされました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	居宅介護福祉用具購入事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	福祉用具を購入された要介護者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようになります。												
(7) 事業概要	在宅の要介護者が、都道府県知事の指定を受けた指定特定福祉用具販売事業所から、入浴や排泄に用いる福祉用具等の一定のものを購入した時は、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	1	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		71,756	43,405	38,404	38,404	45,664							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60							
		総額(B)	千円	5,135	4,890	5,402	5,301							
	総事業費(A+B)		76,891	48,295	43,806	43,806	50,965							
	特定財源(C)		62,786	42,773	33,603	33,603	44,809							
	(内訳)	国	16,899	10,204	9,044	9,044	10,754							
		府	8,970	5,426	4,801	4,801	5,708							
		その他	36,917	27,143	19,758	19,758	28,347							
	市負担(D)		14,105	5,521	10,203	10,203	6,156							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	14,105	5,521	10,203	10,203	6,156							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		76,891	48,294	43,806	43,806	50,965								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	71,756.00	38,404.00	45,664.00
			実績値	(単位:千円)	43,405.00	40,731.00	/	
		達成度(%)			60.5	106.1		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.11		1.08
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	居宅介護福祉用具購入事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00434				

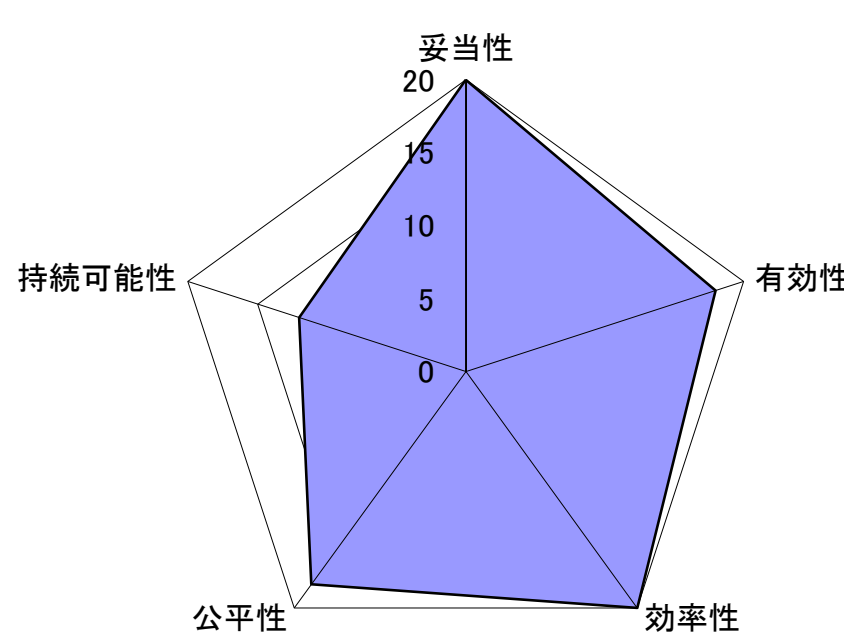
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00434
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要介護者が地域で生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	居宅介護住宅改修事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	住宅改修を行った要介護者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようになります。												
(7) 事業概要	在宅の要介護者が、手すりの取り付け等の一定の住宅改修を実際に居住する住宅について行ったときは、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		93,193	76,186	91,078	91,078	78,007							
	人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60						
		総額(B)	千円	5,135	4,890	5,402	5,402	5,301						
	総事業費(A+B)		98,328	81,076	96,480	96,480	83,308							
	特定財源(C)		81,544	71,385	79,693	79,693	72,791							
	(内訳)	国		21,947	17,910	21,449	21,449	18,370						
		府		11,649	9,523	11,385	11,385	9,751						
		その他		47,948	43,952	46,859	46,859	44,670						
	市負担(D)		16,784	9,690	16,787	16,787	10,517							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		16,784	9,690	16,787	16,787	10,517						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		98,328	81,075	96,480	96,480	83,308								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	93,193.00	91,078.00	78,007.00
			実績値	(単位:千円)	76,186.00	73,585.00	/	
		達成度(%)			81.8	80.8		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.06		1.31
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	居宅介護住宅改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00435				

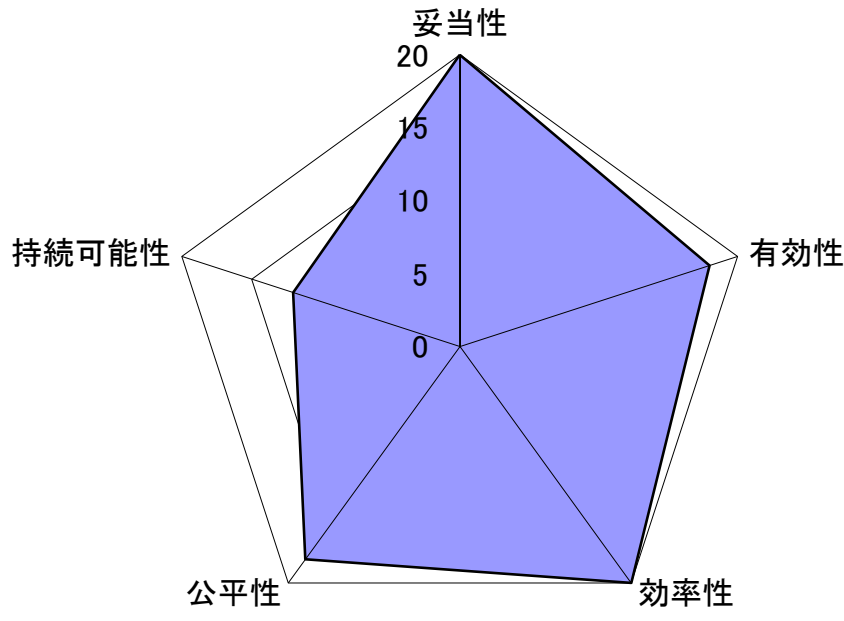
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00435
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要介護者が地域で生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	居宅介護サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	居宅介護支援を受けた要介護者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようにします。												
(7) 事業概要	要介護者が、指定居宅介護支援事業者の行う居宅介護支援(ケアプランの作成、生活全般の相談、サービス提供事業所の手配等)を受けた時は、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	1	目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,067,366	1,015,438	1,050,880	1,050,880	1,155,432							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	856	815	901	901							
	総事業費(A+B)		1,068,222	1,016,253	1,051,781	1,051,781	1,156,316							
	(内訳)	特定財源(C)		933,945	887,104	919,520	919,520	1,000,539						
		国		251,365	238,707	247,482	247,482	272,104						
		府		133,421	126,930	131,360	131,360	144,429						
		その他		549,159	521,467	540,678	540,678	584,006						
	(内訳)	市負担(D)		134,277	129,149	132,261	132,261	155,777						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		134,277	129,149	132,261	132,261	155,777						
	一般財源		0	0	0	0								
財源計(C+D)		1,068,222	1,016,253	1,051,781	1,051,781	1,156,316								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
主な委託内容		介護給付費等支払事務												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	1,067,366.00	1,050,880.00	1,155,432.00
			実績値	(単位:千円)	1,015,438.00	1,078,784.00		
		達成度(%)			95.1	102.7		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	0.97	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
①	活動内容			目標				
		②	成果内容	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。	達成状況	達成できています。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	居宅介護サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00436				

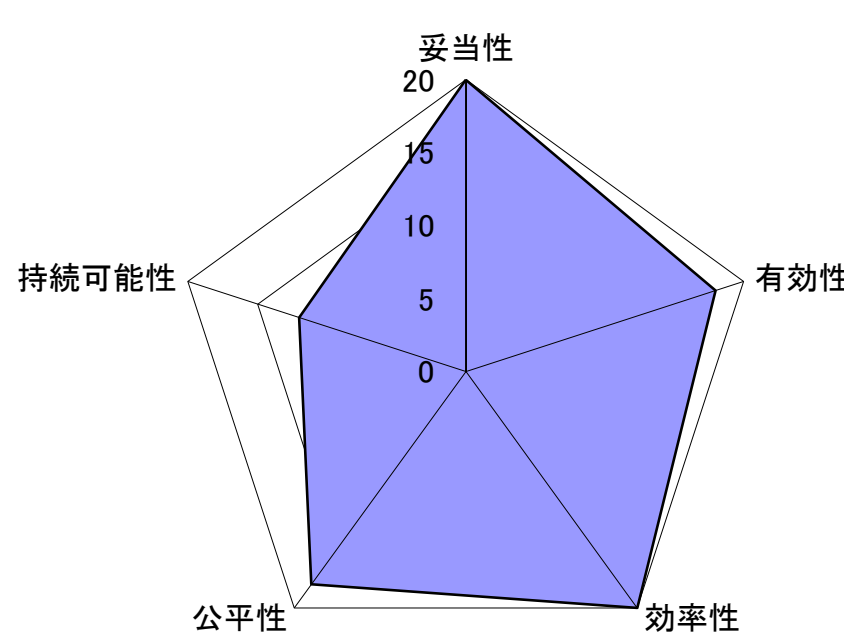
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00436
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要介護者が地域で生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	地域密着型介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域密着型介護サービスを利用された要介護認定者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようにします。												
(7) 事業概要	その地域での生活を24時間体制で他支えるためのもので、地域密着型サービス事業者は要介護者の日常生活圏内にサービス提供の拠点を置きます。要介護者が、市が指定した地域密着型サービス事業者から指定地域密着型サービスを受けた時は、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	1	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,079,698	1,755,674	2,033,173	2,033,173	2,075,866							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,568	2,445	2,701	2,701	2,651						
	総事業費(A+B)		2,082,266	1,758,119	2,035,874	2,035,874	2,078,517							
	特定財源(C)		1,819,736	1,534,822	1,781,727	1,781,727	1,798,646							
	(内訳)	国		489,769	412,719	472,306	472,306	488,866						
		府		259,962	219,459	254,147	254,147	259,483						
		その他		1,070,005	902,644	1,055,274	1,055,274	1,050,297						
	市負担(D)		262,530	223,297	254,147	254,147	279,871							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		262,530	223,297	254,147	254,147	279,871						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		2,082,266	1,758,119	2,035,874	2,035,874	2,078,517								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	2,679,698.00	2,033,173.00	2,075,866.00
			実績値	(単位:千円)	1,755,674.00	1,855,618.00		
		達成度(%)				65.5	91.3	
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.10	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。	達成状況	達成できています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域密着型介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00437				

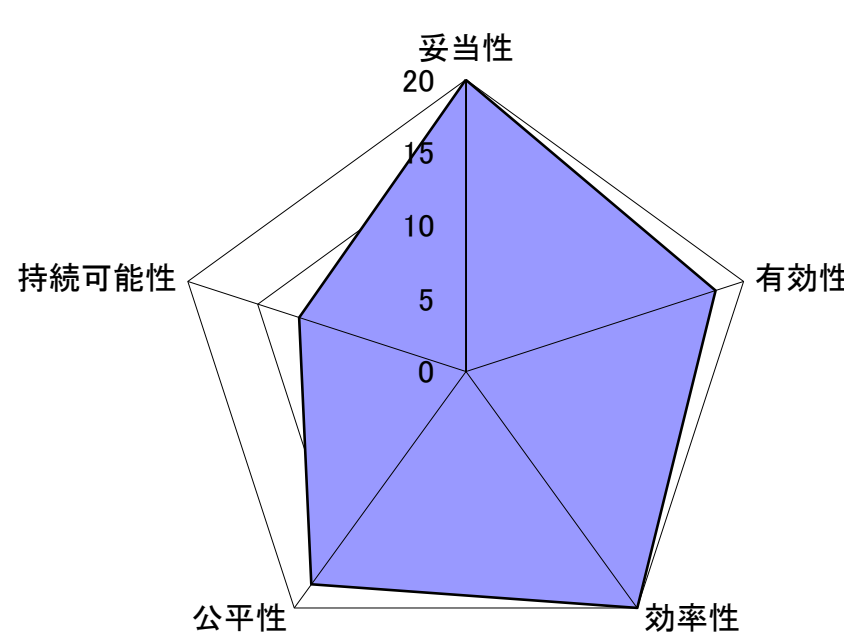
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00437
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要介護者が地域で生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬の改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護予防サービスを利用された要支援者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給することができるようにします。												
(7) 事業概要	要支援者が利用する指定介護予防サービス事業者に対して、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	2	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,143,555	1,168,857	1,271,177	1,271,177	1,301,657							
	人件費	職員数	人	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35						
		総額(B)	千円	2,996	2,853	3,152	3,152	3,093						
	総事業費(A+B)		1,146,551	1,171,710	1,274,329	1,274,329	1,304,750							
	特定財源(C)		1,000,611	1,023,052	1,112,280	1,112,280	1,129,259							
	(内訳)	国		269,307	270,498	299,362	299,362	302,942						
		府		142,944	150,367	158,897	158,897	166,306						
		その他		588,360	602,187	654,021	654,021	660,011						
	市負担(D)		145,940	148,658	162,049	162,049	175,491							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		145,940	148,657	162,049	162,049	175,491						
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		1,146,551	1,171,710	1,274,329	1,274,329	1,304,750								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	1,143,555.00	1,271,177.00	1,301,657.00
			実績値	(単位:千円)	1,168,857.00	1,179,457.00		
		達成度(%)			102.2	92.8		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.08	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できています。	達成状況	達成できています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、対象者の見直しを行います。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00438				

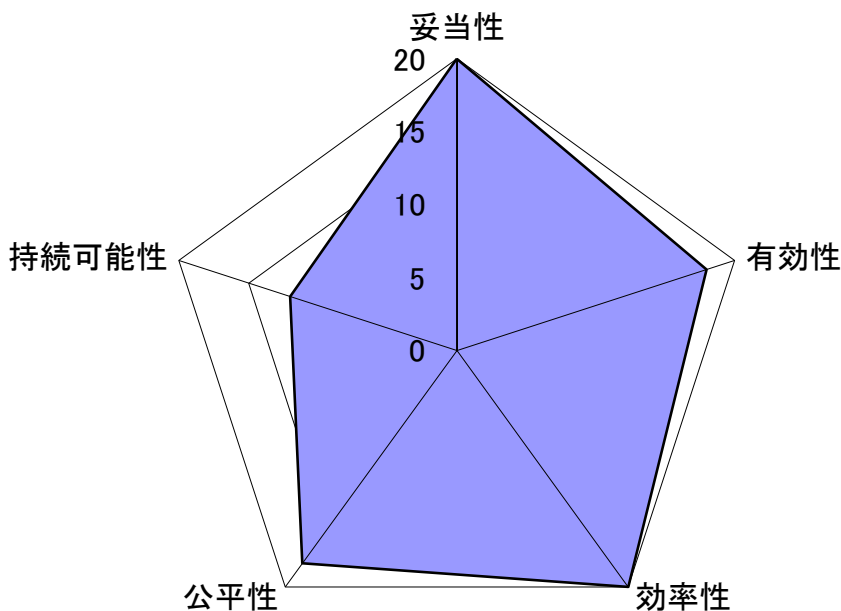
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00438
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の法改正で介護予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行されました。(吹田市は平成29年4月から実施)  
 また平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	介護予防福祉用具購入事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正 内容	介護給付費等の見直し											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	福祉用具を購入された要支援者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できるようにします。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	要支援状態にあっても、できる限りその悪化を防ぎます。													
(7)	事業概要	在宅の要支援者が、都道府県知事の指定を受けた指定特定福祉用具販売事業所から、入浴や排泄に用いる福祉用具等の一定のものを購入した時は、介護給付費を支給します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	2	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		21,896	12,986	17,689	17,689	14,779							
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60						
			総額(B)	千円	5,135	4,890	5,402	5,402	5,301						
		総事業費(A+B)		27,031	17,876	23,091	23,091	20,080							
		特定財源(C)		19,159	16,223	15,478	15,478	18,088							
		(内訳)	国	5,157	3,053	4,166	4,166	3,481							
			府	2,737	1,623	2,211	2,211	1,847							
			その他	11,265	11,547	9,101	9,101	12,760							
		市負担(D)		7,872	1,652	7,613	7,613	1,992							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	7,872		1,652	7,613	7,613	1,992									
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		27,031	17,875	23,091	23,091	20,080									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 給付費	目標値	(単位:千円)	21,896.00	17,689.00	15,310.00	
			実績値	(単位:千円)	12,986.00	14,529.00		
		達成度(%)				59.3		82.1
	目標値の積算方法 前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.38	1.59		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防福祉用具購入事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00439				

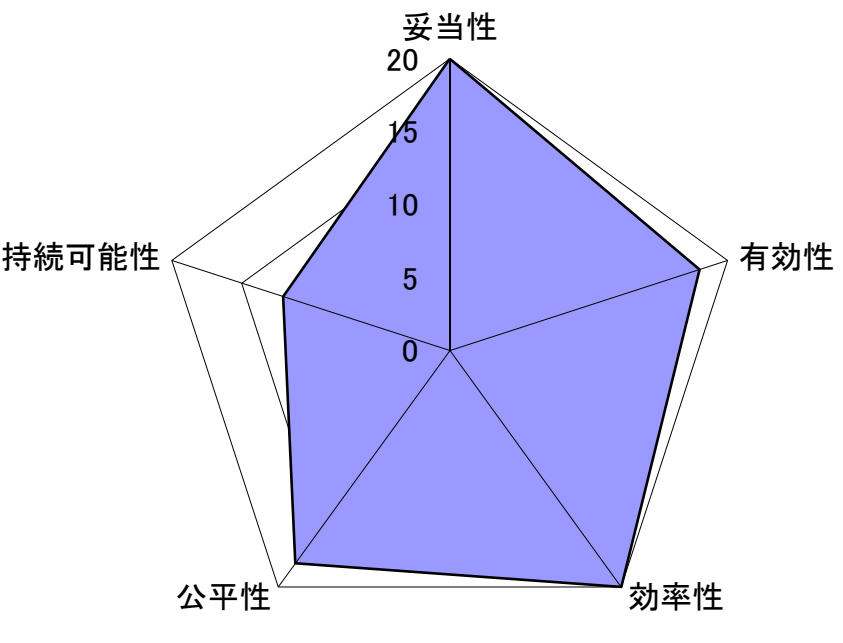
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00439
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護予防住宅改修事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬改定等											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	住宅改修を行った要支援者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できるようにします。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	要支援状態にあっても、出来る限りその悪化を防ぎます。													
(7)	事業概要	在宅の要支援者が、手すりの取り付け等の一定の住宅改修を実際に居住する住宅について行ったときは、介護給付費を支給します。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	2	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		58,679	54,569	71,746	71,746	55,692							
		人件費	職員数	人	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65						
			総額(B)	千円	5,563	5,297	5,852	5,852	5,743						
		総事業費(A+B)		64,242	59,866	77,598	77,598	61,435							
		特定財源(C)		51,344	52,926	62,778	62,778	53,926							
		(内訳)	国		13,819	12,828	16,896	16,896	13,115						
			府		7,335	6,821	8,968	8,968	6,962						
			その他		30,190	33,277	36,914	36,914	33,849						
		市負担(D)		12,898	6,940	14,820	14,820	7,509							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		12,898	6,940	14,820	14,820	7,509						
一般財源			0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		64,242	59,866	77,598	77,598	61,435									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 給付費	目標値	(単位:千円)	58,679.00	71,746.00	55,692.00	
			実績値	(単位:千円)	54,569.00	49,000.00		
		達成度(%)				93.0		68.3
	目標値の積算方法 前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.10	1.58		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防住宅改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00440				

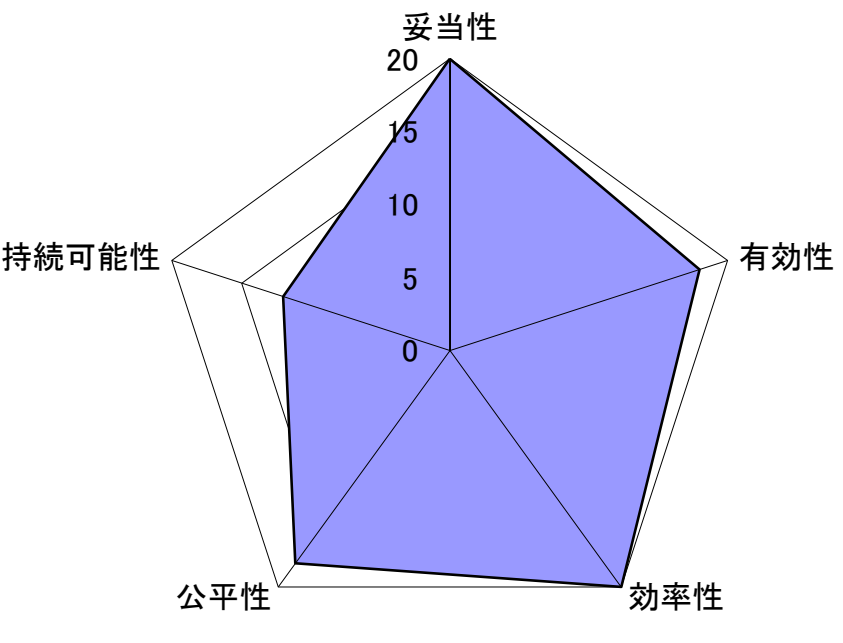
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00440
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	介護予防サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護予防サービスを利用された要支援者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できるようにします。												
(7) 事業概要	要支援者が、地域包括支援センターの行う介護予防支援(介護予防ケアプランの作成、生活全般の相談、サービス提供事業所の手配等)を受けたときは、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	2	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		161,903	166,567	179,442	179,442	203,421							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		162,759	167,382	180,343	180,343	204,305							
	特定財源(C)		141,665	146,197	157,012	157,012	176,879							
	(内訳)	国	38,128	39,156	42,259	42,259	47,905							
		府	20,238	20,821	22,430	22,430	25,428							
		その他	83,299	86,220	92,323	92,323	103,546							
	市負担(D)		21,094	21,185	23,331	23,331	27,426							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	21,094	21,185	23,331	23,331	27,426							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		162,759	167,382	180,343	180,343	204,305								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
主な委託内容		介護給付費等支払事務												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	161,903.00	179,442.00	203,421.00
			実績値	(単位:千円)	166,567.00	188,251.00		
		達成度(%)			102.9	104.9		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	0.96	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
③	活動内容			目標				
			介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できています。	達成状況		達成できています。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、対象者の見直しを行います。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00441				

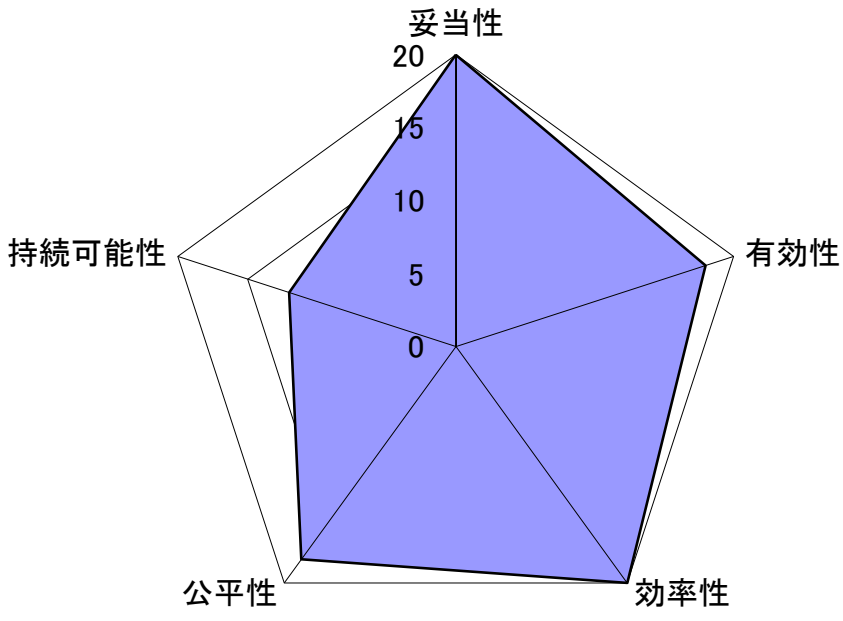
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00441
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の法改正で介護予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行され、同事業利用者のケアプラン作成等についても、同事業による介護予防ケアマネジメントに移行することになります。(吹田市は平成29年3月から実施)

## 事務事業評価調書

事務事業名	地域密着型介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護報酬改定等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域密着型介護予防サービスを利用された要支援者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できるようにします。												
(7) 事業概要	地域での生活を24時間体制で支えるためのもので、地域密着型サービス事業者は、要支援者の日常生活圏内にサービス提供の拠点を置きます。要支援者が、市が指定した地域密着型サービス事業者から指定地域密着型サービスを受けたときは、介護給付費を支給します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	2	目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		15,932	7,309	16,204	16,204	13,416							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	856	815	901	901							
	総事業費(A+B)		16,788	8,124	17,105	17,105	14,300							
	特定財源(C)		13,941	7,194	14,179	14,179	12,491							
	(内訳)	国	3,702	1,718	3,764	3,764	3,159							
		府	1,991	914	2,025	2,025	1,677							
		その他	8,248	4,562	8,390	8,390	7,655							
	市負担(D)		2,847	930	2,926	2,926	1,809							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	2,847	930	2,926	2,926	1,809							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		16,788	8,124	17,105	17,105	14,300								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
主な委託内容		介護給付費等支払事務												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 給付費	目標値	(単位:千円)	15,932.00	16,204.00	13,416.00
			実績値	(単位:千円)	7,309.00	11,041.00	
		達成度(%)		45.9	68.1		
	目標値の積算方法 前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.11	1.55		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
③	活動内容	目標					
		達成状況	達成できています。				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	介護保険法に基づく事業であり、行政が実施すべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域密着型介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00442				

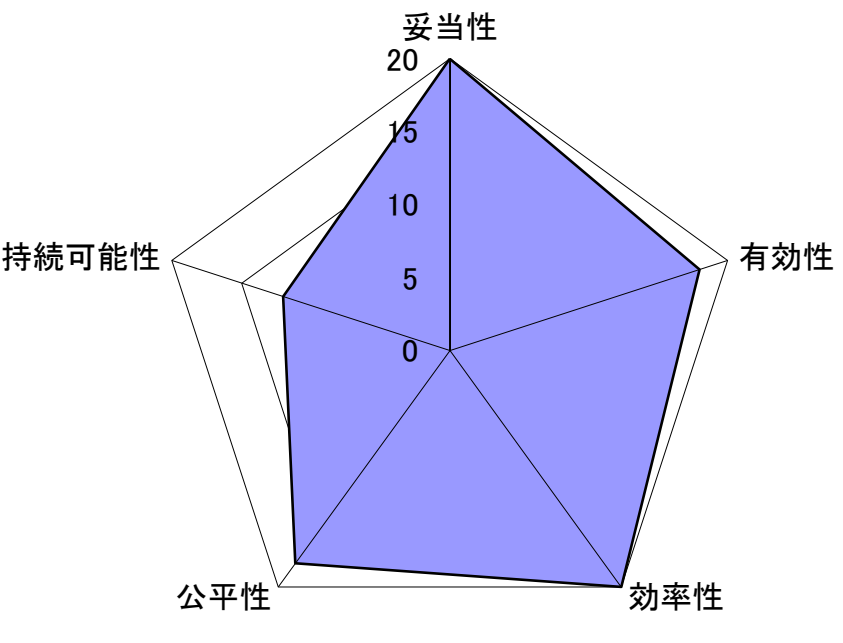
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00442
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活するための欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の法改正で介護予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行されました。(吹田市は平成29年4月から実施)  
 また平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	審査支払手数料事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	手数料の改定											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	大阪府国民健康保険団体連合会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事務の効率化												
(7) 事業概要	サービス事業者・施設からの介護給付費請求に対する審査及び支払いを大阪府国民健康保険団体連合会に委託しており、その審査及び支払いにかかる手数料を支払います。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	3	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		18,584	8,241	20,317	20,317	20,850							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		19,440	9,056	21,218	21,218	21,734							
	特定財源(C)		16,261	8,007	17,777	17,777	18,923							
	(内訳)	国	4,319	1,937	4,719	4,719	4,910							
		府	2,323	1,030	2,540	2,540	2,606							
		その他	9,619	5,040	10,518	10,518	11,407							
	市負担(D)		3,179	1,049	3,441	3,441	2,811							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	3,179	1,048	3,441	3,441	2,811							
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		19,440	9,056	21,218	21,218	21,734								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費の審査及び支払いに対する業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	審査支払件数	目標値	(単位:件)	403,988.00	441,664.00	453,240.00
			実績値	(単位:件)	403,711.00	440,790.00	/	
		達成度(%)			99.9	99.8		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.02		0.05
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	サービス事業者・施設からの介護給付費請求に対する審査及び支払いを委託することで介護保険事務を効率化しています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		大阪府国民健康保険団体連合会に委託することにより、市の支払事務の効率化を図ることができます。平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、対象者の見直しを行います。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	審査支払手数料事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00443				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00443
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The '妥当性' (Justification) axis has the highest score at 20. The '有効性' (Effectiveness) axis has a score of 15. The '効率性' (Efficiency) axis has a score of 10. The '公平性' (Fairness) and '持続可能性' (Sustainability) axes both have a score of 5. The chart is shaded in blue.</p>		
(3)現状分析	<p>介護保険の給付はサービス事業者からの請求を大阪府国民健康保険団体連合会で審査業務を行うことにより効率化を図っていることから必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	高額介護サービス事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	平成18年7月1日から平成20年6月30日までの間、激変緩和措置											
(2) 直近の改正	平成20年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護サービス利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	1か月あたりの利用者負担額が世帯合算の限度額を超えた場合、その超えた額を給付します。												
(7) 事業概要	介護サービス利用者が支払った1割の負担額が(福祉用具購入費、住宅改修費、施設での食費や居住費や日常生活費は対象外)、世帯合計で限度額を超えた場合、高額介護等サービス費として、超えた分を給付します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	4	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		401,983	391,130	559,861	559,861	486,603							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,279	4,075	4,502	4,502	4,418						
	総事業費(A+B)		406,262	395,205	564,363	564,363	491,021							
	特定財源(C)		353,047	345,473	494,380	494,380	425,417							
	(内訳)	国		93,421	91,939	130,056	130,056	114,595						
		府		50,248	48,887	69,983	69,983	60,825						
		その他		209,378	204,647	294,341	294,341	249,997						
	市負担(D)		53,215	49,732	69,983	69,983	65,604							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		53,215	49,731	69,983	69,983	65,604						
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		406,262	395,205	564,363	564,363	491,021								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	401,983.00	559,861.00	486,603.00
			実績値	(単位:千円)	391,205.00	451,373.00		
		達成度(%)			97.3	80.6		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.01	1.25	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
①	活動内容			目標				
			利用者の1割負担の上限を設けることで、負担を軽減し、要介護・要支援者が必要なサービスを利用できます。	達成状況		達成できています。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		所得段階に応じた利用者負担の上限を設け超えた分が払い戻されるため(毎月)利用者にとっては必ず必要なサービスだと考えられます。また、大阪府内の施設入所者には受領委任払いの制度が適用されるので一旦費用を立て替える事もなく、さらにサービスを利用しやすくなっていると考えられます。平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、対象者の見直しを行います。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高額介護サービス事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00444				

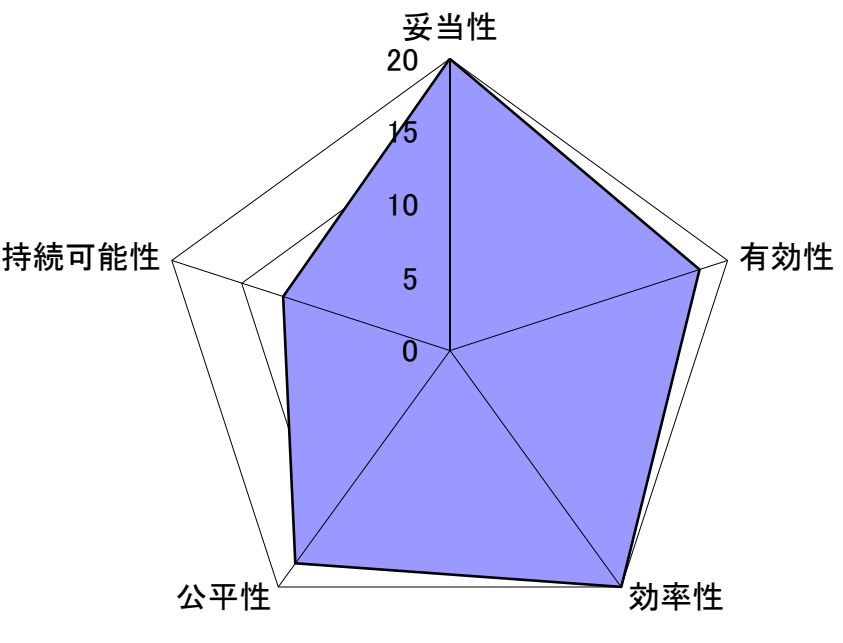
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00444
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。            利用者負担額が一定の限度額を超えた場合に給付する制度であり、安心して介護保険サービスを利用するうえで欠かせない制度となっています。            今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。            事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。  
 また、現役並み所得者に相当する者の自己負担限度額が引き上げられました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	高額医療合算介護サービス事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	自己負担額の一部変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	医療保険加入世帯内で、医療及び介護の両制度共に自己負担額がある世帯											
	結果(どのような効果が得られるのか)	医療保険、介護保険の両給付を受けることにより、自己負担額が著しく高額になる場合に、利用負担額の上限を設けることで、負担を軽減します。												
(7) 事業概要	医療保険各制度の世帯内で、1年間(毎年8月1日から翌年7月31日)の医療保険と介護保険との自己負担合計額が限度額を超えた場合、その超えた額を高額医療合算介護サービス費として給付します。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	2	項	5	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		55,453	52,128	77,231	77,231	66,899							
	人件費	職員数	人	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65						
		総額(B)	千円	5,563	5,297	5,852	5,852	5,743						
	総事業費(A+B)		61,016	57,425	83,083	83,083	72,642							
	特定財源(C)		53,675	50,795	73,429	73,429	63,623							
	(内訳)	国		12,888	12,254	17,941	17,941	15,755						
		府		6,932	6,516	9,654	9,654	8,362						
		その他		33,855	32,025	45,834	45,834	39,506						
	市負担(D)		7,341	6,630	9,654	9,654	9,019							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		7,341	6,630	9,654	9,654	9,019						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		61,016	57,425	83,083	83,083	72,642								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	55,453.00	77,231.00	66,899.00
			実績値	(単位:千円)	52,128.00	63,558.00	/	
		達成度(%)			94.0	82.3		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.10		1.31
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	医療保険、介護保険の両給付を受けることにより、自己負担額が著しく高額になる場合に利用負担額の上限を設けることで、負担を軽減し、要介護・要支援者が必要なサービスを受給できます。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成20年度に開始された新しい制度で、医療保険および介護保険の利用者負担額の合計が限度額を超えた場合その超えた部分が支給されます。 両方のサービスを利用している人にとっては必要なサービスと考えられます。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高額医療合算介護サービス事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00445				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00445
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          医療費と介護保険サービスの利用者負担額が一定の限度額を超えた場合に給付する制度であり、医療と介護を必要とする高齢者が増加する中で安心して介護保険サービスを利用するために欠かせない制度となっています。          今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          複雑な制度になっており、それに伴い事務も複雑になっていますが事務については常に改善を意識し効率化を図っており、現行制度内でのこれ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。  
 また、医療保険の高額療養費制度の改正に伴い、介護保険の高額医療合算サービス費の自己負担限度額が一部改正されました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	特定入所者介護サービス等事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	平成18年7月1日から平成20年6月30日までの間、激変緩和措置終了に伴う所得段階の変更											
(2) 直近の改正	平成20年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	低所得の介護サービス利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民税世帯非課税等の低所得者について、施設サービスや短期入所サービスを利用したとき、食費・居住費について補給給付として支給されます。												
(7) 事業概要	市民税世帯非課税等の低所得者について、施設サービス・短期入所サービスの食費・居住費負担には限度額が設定され、限度額を超える分は支給されます。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	6	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		769,896	763,186	751,943	751,943	812,855							
	人件費	職員数	人	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55						
		総額(B)	千円	4,707	4,482	4,952	4,952	4,860						
	総事業費(A+B)		774,603	767,668	756,895	756,895	817,715							
	特定財源(C)		672,683	670,605	662,902	662,902	708,125							
	(内訳)	国		146,976	148,963	144,208	144,208	159,007						
		府		128,184	125,832	124,462	124,462	134,028						
		その他		397,523	395,810	394,232	394,232	415,090						
	市負担(D)		101,920	97,063	93,993	93,993	109,590							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		101,920	97,063	93,993	93,993	109,590						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		774,603	767,668	756,895	756,895	817,715								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 大阪府国民健康保険団体連合会											
			②											
			③											
	主な委託内容		介護給付費等支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	給付費	目標値	(単位:千円)	769,896.00	751,943.00	812,855.00
			実績値	(単位:千円)	763,186.00	752,618.00		
		達成度(%)			99.1	100.1		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.01	1.01	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
③	活動内容			目標				
		成果内容	低所得者が施設サービスや短期入所サービスを利用したとき、食費・居住費について補足給付として支給することで、自己負担額を軽減しています。	達成状況	達成できています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	施設サービスや短期入所サービスを利用したときの食費・居住費は、施設との契約で決まるため、一か月にかかる費用がかなり高まります。低所得者が施設を利用するためには、なくてはならないサービスです。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	特定入所者介護サービス等事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00446				

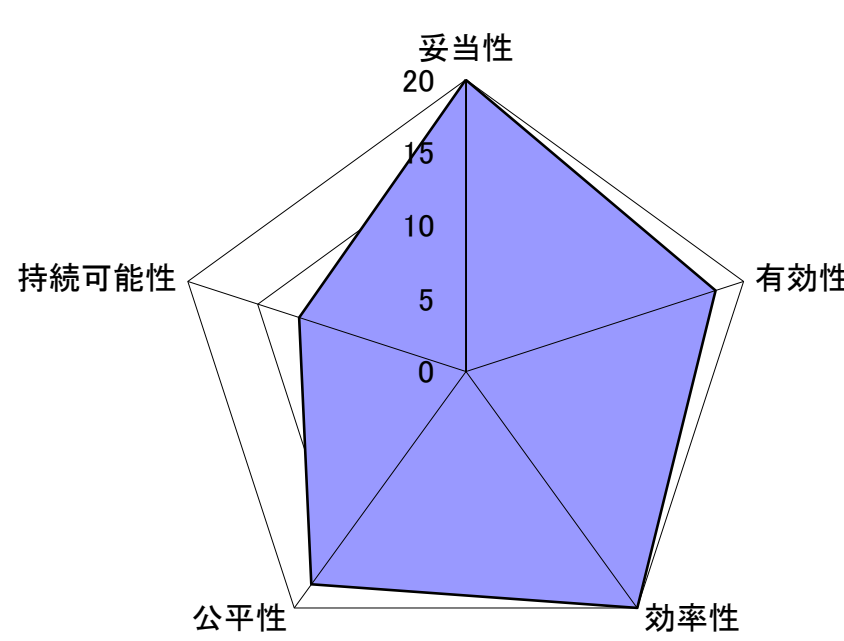
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00446
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険法で定められているサービス給付であり、適正に執行しています。          低所得者の施設サービス等の食費、居住費の補足給付であり、低所得者が施設サービス等を利用するためには欠かせない制度となっています。          施設整備状況とも密接に関連しますが、今後も高齢者が増加し、サービス利用者が増加することが見込まれるため事業費の増加は避けられません。          事務については常に改善を意識し効率化を図っており、これ以上の効率化は困難と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の制度改正で、対象要件について資産要件等が加わりました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	介護保険給付費準備基金積立事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市介護保険給付費準備基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	余剰金や基金の運用から生じる収益											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	余剰金や基金の運用から生じる収益を介護保険給付費準備基金に積み立てます。												
(7) 事業概要	介護保険制度では、3年間で1期とし、期間内で収支の均衡を図る制度となっており、財政運営を安定的に行うために基金を設置するとともに、余剰金等の管理を行います。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	3	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		145	234,601	3,772	3,772	53							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	428	408	451	451	442						
	総事業費(A+B)		573	235,009	4,223	4,223	495							
	特定財源(C)		145	680	3,772	3,772	495							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	145	680	3,772	3,772	495							
	市負担(D)		428	234,328	451	451	451							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	428	234,328	451	451	451							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		573	235,008	4,223	4,223	946								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	余剰金や基金の運用から生じる収益を介護保険給付費準備基金に積み立てます。			目標	適正な基金管理	
	②	成果内容	介護保険給付費準備基金の適正な管理により、介護保険事業の安定的な運営を図っています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険事業の財政運営の安定を図るため、保険者である市が行うべき事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護保険給付費準備基金積立事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00447				

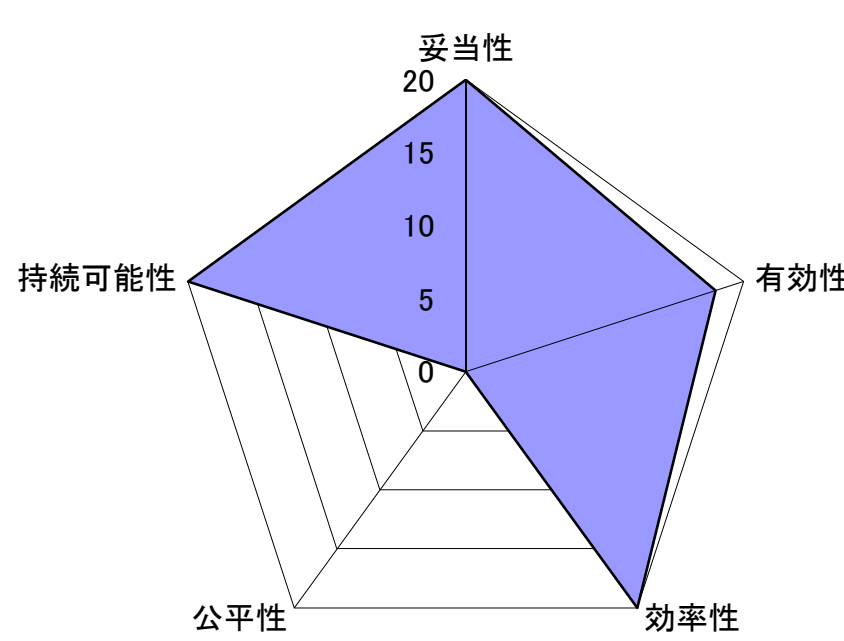
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00447
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays the following scores for each category: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (5), and 持続可能性 (5). The scale ranges from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>介護保険は3年間で1期とし、期間内で収支の均衡を図る制度となっており、余剰金が生じたときには介護保険給付費準備基金に積立て、逆に不足が生じたときには取り崩すことによりに運営されているもので、計画的運営のためには必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	第1号被保険者保険料還付事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	介護保険料の改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	介護保険法、吹田市介護保険条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	介護保険の第1号被保険者(65歳以上の人)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	転出・死亡などにより発生した介護保険料過誤納金を適正に返還する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護保険制度の適正な実施。													
(7)	事業概要	転出・死亡などにより発生した介護保険料還付金のうち年度内に還付できなかった過年度分の過誤納金を適正に返還します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	4	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,921	4,906	7,966	7,966	8,267							
		人件費	職員数	人	0.60	0.55	0.55	0.55	0.55						
			総額(B)	千円	5,135	4,482	4,952	4,952	4,860						
		総事業費(A+B)		12,056	9,388	12,918	12,918	13,127							
		特定財源(C)		12,056	9,388	12,918	12,918	13,127							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	12,056	9,388	12,918	12,918	13,127							
		市負担(D)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		12,056	9,388	12,918	12,918	13,127									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	償還金	目標値	(単位:円)	6,921,000.00	7,966,000.00	8,267,000.00
			実績値	(単位:円)	5,130,531.00	6,365,146.00		
		達成度(%)			74.1	79.9		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法				単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	転出・死亡などにより発生した介護保険料還付金を適正に返還することで適正な介護保険制度を実施しています。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	介護保険法に基づく事業であり、行政が直営で実施すべき事業です。						

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	第1号被保険者保険料還付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00448				

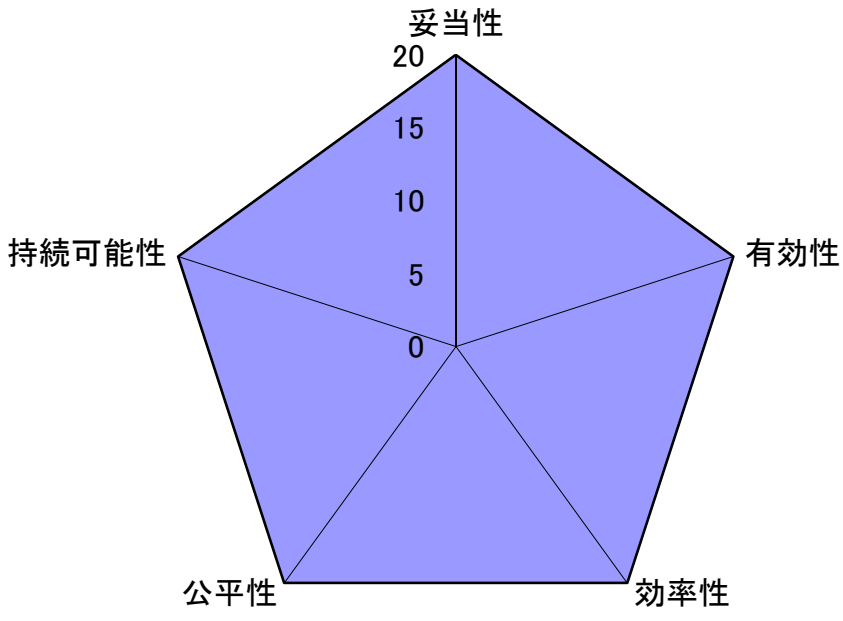
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	100	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00448
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度運営の財源確保のため、第1号被保険者(65歳以上の方)に対し、介護保険料の賦課・徴収を行っています。介護保険料については、①過誤納金が発生する。②還付期限が介護保険法により2年と規定されている等により、本事業を実施する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度以降に賦課決定された保険料については、当該年度における最初の保険料の納期の翌日から起算して、二年を経過した日以降については更正することができない旨が規定された。



## 事務事業評価調書

事務事業名	介護相談員派遣事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容	平成18年度より一般会計から介護保険特別会計地域支援事業費に変更											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	吹田市介護相談員派遣事業実施要綱、地域支援事業実施要綱(国)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険施設等サービス利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	サービス利用の疑問や不満、不安の解消を図ります。												
(7) 事業概要	介護相談員は公募により募集、選任し、研修の受講終了後、申し出のあった施設に派遣します。介護相談員は、相談内容を事業所に橋渡しすることにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的向上を図ります。また、市は相談員からの相談を受け、毎月1回報告会を開催することにより、サービス利用者の不満を含めたサービス事業所の現状把握を行います。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,097	3,831	4,774	4,774	4,902							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10						
		総額(B)	千円	1,712	1,630	1,801	1,801	884						
	総事業費(A+B)		5,809	5,461	6,575	6,575	5,786							
	特定財源(C)		4,662	4,705	5,283	5,283	4,829							
	(内訳)	国		2,294	1,945	2,564	2,564	2,256						
		府		1,147	973	1,282	1,282	1,129						
		その他		1,221	1,787	1,437	1,437	1,444						
	市負担(D)		1,147	756	1,292	1,292	957							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		1,147	756	1,292	1,292	957						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		5,809	5,461	6,575	6,575	5,786								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 活動回数	目標値	(単位:回)	1,348.00	1,468.00	/
			実績値	(単位:回)	1,272.00	1,437.00	
		達成度(%)		94.4	97.9		
	目標値の積算方法 前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.29	4.58		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護相談員が利用者の声を施設や市へフィードバックすることで介護サービスの質的な向上を図っています。			達成状況	概ね達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		介護相談員は公募により募集し選任します。介護相談員を派遣することで、閉鎖的になりがちな事業所(施設系サービス)に対する不法行為の抑止効果も考えられ虐待等の防止にも繋がっています。また、保険者への報告を相談員のスキルアップをかねて月1回事務局の市担当職員に行うことにより、事業所への一方的な指導にならないよう調整を行いながら適切な活動を行うことができます。また、市としてもサービス利用者の不満等を含めた事業所の現状把握も行えることから、報償費で訪問1回あたりの活動費(交通費、行事参加実費等含む)として3,000円を支給していますが、コスト以上の効果を上げていると考えます。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護相談員派遣事業	事業区分	その他
事務事業番号	00449				

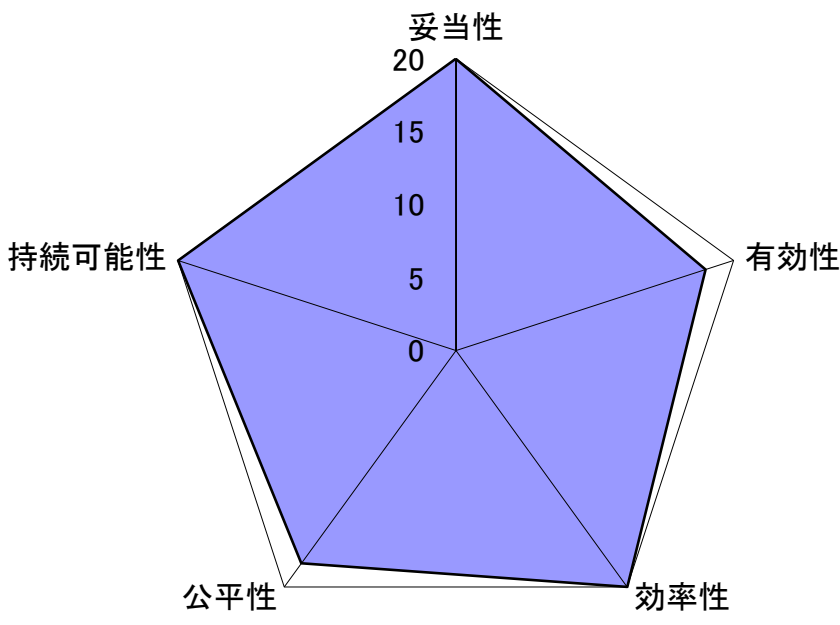
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>96</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00449
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護相談員を施設に派遣することにより、利用者と施設の橋渡しをする事業であり、サービスの質の向上に寄与します。また、閉鎖的になりがちな施設に相談員が入ることにより風通しの良い施設になるという効果もあります。また、国の介護給付適正化計画に関する指針に基づく大阪府介護給付適正化計画の事業とされており、不適切な給付の削減にも寄与しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護給付費通知事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容	平成15年度より国の介護費用適正化対策事業として実施											
(2) 直近の改正	平成18年度		平成18年度より地域支援事業として実施											
(3) 根拠法令等	吹田市介護保険給付費通知実施要領、地域支援事業実施要綱(国)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険サービス利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護サービスの質的向上及び給付の適正化を図ります。												
(7) 事業概要	介護保険サービス利用者に保険給付実績を年2回通知します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,939	1,708	2,024	2,024	1,986							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10						
		総額(B)	千円	1,712	1,630	1,801	1,801	884						
	総事業費(A+B)		3,651	3,338	3,825	3,825	2,870							
	特定財源(C)		2,930	3,000	3,079	3,079	2,483							
	(内訳)	国		1,442	1,219	1,492	1,492	1,120						
		府		721	610	746	746	559						
		その他		767	1,171	841	841	804						
	市負担(D)		721	338	746	746	387							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		721	337	746	746	387						
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		3,651	3,338	3,825	3,825	2,870								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 対象件数	目標値	(単位:件)	26,800.00	29,000.00	/
			実績値	(単位:件)	26,212.00	27,363.00	
		達成度(%)		97.8	94.4		
	目標値の積算方法 前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.13	0.14		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	保険給付の内容を利用者に通知することにより、架空請求などの発見の端緒とし、給付の適正化を図っています。			達成状況	概ね達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		利用者が自分が利用した介護サービスを確認することにより、不正な請求を確認できるため、介護給付費の適正化として十分効果があると考えます。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護給付費通知事業	事業区分	その他
事務事業番号	00450				

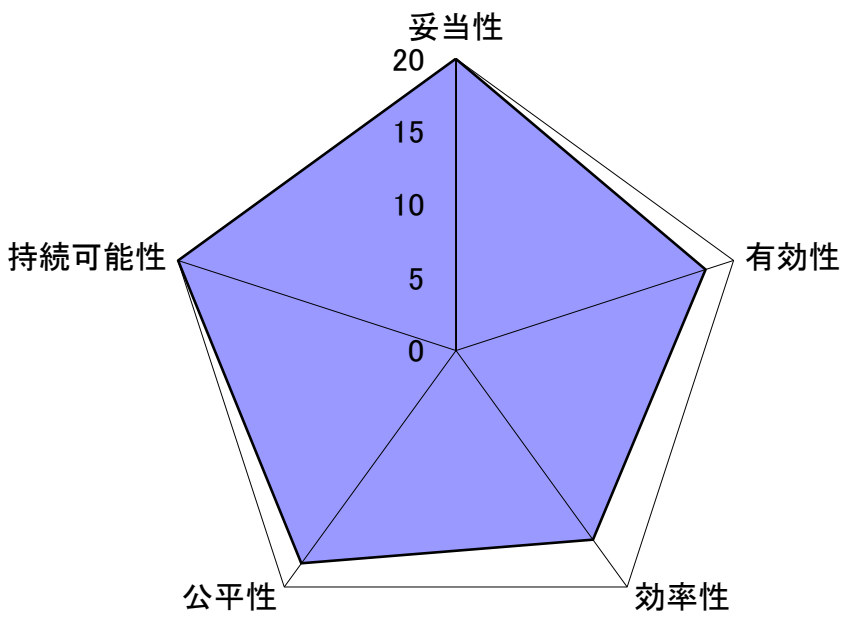
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00450
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護サービス利用者に保険給付実績を通知することにより、利用者自身が給付状況等を確認することにより、適正な給付を図ることができ、架空請求や過剰請求などの不正を抑止することができます。また、給付額を確認することで利用者にコスト意識をもってもらうことで、不適切な給付の削減の効果も期待できます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	住宅改修支援事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	平成22年度より地域支援事業(任意事業)へ移行											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	吹田市住宅改修費支給要綱、地域支援事業実施要綱(国)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	居宅介護支援サービスを受けていない要介護者等で、住宅改修を希望する者。												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	住宅改修費の支給申請に関し理由書の作成等必要な手続きの支援を行う介護支援専門員等を支援し、円滑な住宅改修を図ります。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	住宅改修を行う要介護者、要支援者及びその家族等が住宅改修費支給手続きを円滑に進めることができます。												
(7) 事業概要	居宅介護支援の提供を受けていない(居宅サービス計画の作成にあたる介護支援専門員がいない)要介護者等が、住宅改修費の支給申請に際し、住宅改修について専門性があると認められる介護支援専門員等が住宅改修理由書の作成を行った場合、介護支援専門員等が所属する居宅介護支援事業者を運営する法人等と理由書作成1件当たり2,000円で委託契約を結び支払を行っています。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		128	108	124	124	130							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	856	815	901	901	884						
	総事業費(A+B)		984	923	1,025	1,025	1,014							
	特定財源(C)		790	901	826	826	989							
	(内訳)	国		388	355	399	399	396						
		府		194	177	199	199	197						
		その他		208	369	228	228	396						
	市負担(D)		194	22	199	199	25							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		194	21	199	199	25						
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		984	923	1,025	1,025	1,014								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	居宅介護支援事業者等										
			②											
			③											
	主な委託内容		介護保険住宅改修費の支給申請に伴う理由書											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 対象件数	目標値	(単位:件)	64.00	62.00	65.00	
			実績値	(単位:件)	20.00	29.00		
			達成度(%)		31.3	46.8		
	目標値の積算方法	前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		46.15	35.34	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
の3が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	住宅改修を行う要介護者、要支援者及びその家族等が住宅改修費支給手続きを円滑に進めています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高齢者の生活支援事業として、市が取り組むべき事業と考えます。対象者は少ないですが、必要性が高いと考えます。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	住宅改修支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00451				

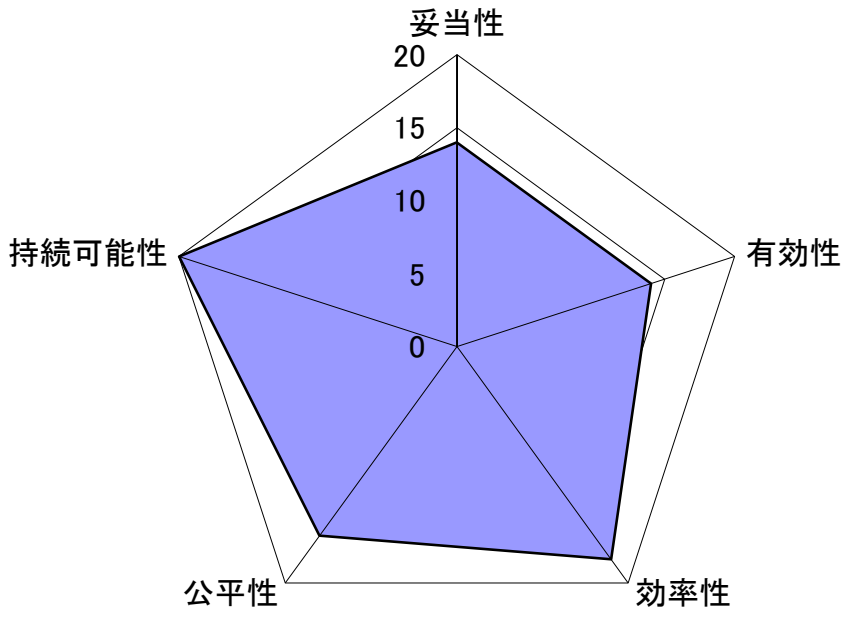
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00451
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>居宅介護支援サービスを受けていない要介護認定者が住宅改修を必要とする場合、申請に必要な理由書を作成する必要があり、円滑な住宅改修の実施のためには必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	居宅サービスに係る利用者負担額の助成事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	平成24年8月利用分から対象者・対象サービス及び支払方法等を変更。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市居宅サービス等に係る利用者負担額の助成に関する要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険居宅サービス利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	低所得者が居宅サービスの利用を手控えることがないようにします。												
(7) 事業概要	<p>対象者が居宅サービスを利用し、サービス事業者が行った保険請求に基づき利用者負担額の1/4を助成します。</p> <p>対象者要件 市民税世帯非課税者で次の要件にすべて該当する方。 ①世帯収入の合計が120万円(2人以上の場合は2人目から48万円を加算した額)以下であること②他の世帯に属する者の扶養をうけていないこと③世帯の預貯金等が350万円以下であること④居住用以外に活用できる不動産を所有していないこと</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	12	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,684	3,804	1,847	1,847	1,750							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.50						
		総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,341	4,085						
	総事業費(A+B)		7,004	6,983	5,188	5,188	5,835							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		7,004	6,983	5,188	5,188	5,835						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		7,004	6,983	5,188	5,188	5,835						
財源計(C+D)		7,004	6,983	5,188	5,188	5,835								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	申請者数	目標値	(単位:人)	150.00	150.00	150.00
			実績値	(単位:人)	147.00	44.00	/	
		達成度(%)		98.0	29.3			
	目標値の積算方法	前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	47.50	117.91		
				一般財源(単位:千円)	47.50	117.91		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	低所得者の利用者負担を緩和することにより、低所得者が居宅サービスの利用を手控えることがないようにしています。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険サービスの利用者負担については、制度発足当初から応益負担の考え方に基づき、一律1割負担となっています。平成27年度から現役並み所得者については2割負担となり、一部応能負担の考え方が取り入れられましたが、低所得者にとっては相対的に負担の重い制度になっています。利用者負担の重さがサービス利用手控えにつながることはないよう、本事業は継続していく必要があるものです。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	居宅サービスに係る利用者負担額の助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00452				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00452
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年度に事業見直しを行った結果、低所得者が居宅サービスの利用を手控えることがないような事業として継続することが可能になりました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	訪問介護利用者に対する利用者負担額軽減措置事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	障がい者施策の継続と障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において、境界層該当として定率負担が全額免除となっている人に対する制度の新設。											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	吹田市訪問介護等利用者負担額の助成に関する要綱ほか													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において、境界層該当として定率負担が全額免除となっている人											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者施策との利用格差を緩和します。												
(7) 事業概要	障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当として定率負担が全額免除となっている者で65歳到達以前のおおむね1年間に障がい者施策によるホームヘルプサービスを利用して、65歳に到達したことで介護保険の対象者となった者、特定疾病によって生じた身体上又は精神上的の障がいがある原因で、要介護又は要支援の状態となった40歳から64歳までの者の10%の利用者負担額を全額免除します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	12	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		54	0	19	19	19							
	人件費	職員数	0.05	0.00	0.05	0.05	0.20							
		総額(B)	415	0	418	418	1,634							
	総事業費(A+B)		469	0	437	437	1,653							
	特定財源(C)		38	0	13	13	13							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	38	0	13	13	13							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		431	0	424	424	1,640							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		431	0	424	424	1,640								
財源計(C+D)		469	0	437	437	1,653								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		審査支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	助成額	目標値	(単位:円)	51,000.00	17,000.00	17,000.00
			実績値	(単位:円)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	低所得者のホームヘルプサービスの継続的な利用を促しています。			達成状況	26年度は該当者がいないため実績がありません。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当として定率負担が全額免除となっている者で65歳到達以前のおおむね1年間に障がい者施策によるホームヘルプサービスを利用して、65歳に到達したことで介護保険の対象者となった者、特定疾病によって生じた身体上又は精神上的の障がいがある原因で、要介護又は要支援の状態となった40歳から64歳までの者の10%の利用者負担額を全額免除します。低所得者対策として制度は必要ですが、現在該当者はいません。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	訪問介護利用者に対する利用者負担額軽減措置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00453				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00453
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度が開始される前から障がい者施策を利用されていた人の軽減措置であり、現在対象者はいません。今後は転入以外で発生することはない事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	社会福祉法人等による利用者負担の軽減措置に伴う助成事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	軽減対象者の拡充											
(2) 直近の改正	平成23年度													
(3) 根拠法令等	社会福祉法人等による利用者負担軽減事業助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	社会福祉法人											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	利用料を軽減した社会福祉法人に対し、軽減額の一部を助成します。												
(7) 事業概要	収入や預貯金等の要件を満たす対象者に、社会福祉法人が利用者負担額の25%を軽減し、軽減した割合が年間収入の1%を超えた場合に、超えた額の50%を助成する。 特別養護老人ホームの場合は10%を超えれば全額を助成する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	12	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		172	40	172	172	172							
	人件費	職員数	0.05	0.10	0.05	0.05	0.20							
		総額(B)	415	795	418	418	1,634							
	総事業費(A+B)		587	835	590	590	1,806							
	特定財源(C)		128	30	128	128	128							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	128	30	128	128	128							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		459	805	462	462	1,678							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		459	805	462	462	1,678								
財源計(C+D)		587	835	590	590	1,806								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	助成額	目標値	(単位:円)	170,000.00	170,000.00	170,000.00
			実績値	(単位:円)	41,645.00	52,963.00		
		達成度(%)			24.5	31.2		
	目標値の積算方法	前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.01	0.01	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	利用料の軽減を行った法人を助成することにより、利用者の負担軽減の促進を図っています。				達成状況	達成できています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		社会福祉法人の公益性からも、社会福祉法人による利用者負担の軽減は必要とされるところであります。低所得者対策の制度として運営していくためには軽減額の一部助成は必要です。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	社会福祉法人による利用料負担の軽減措置に伴う助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00454				

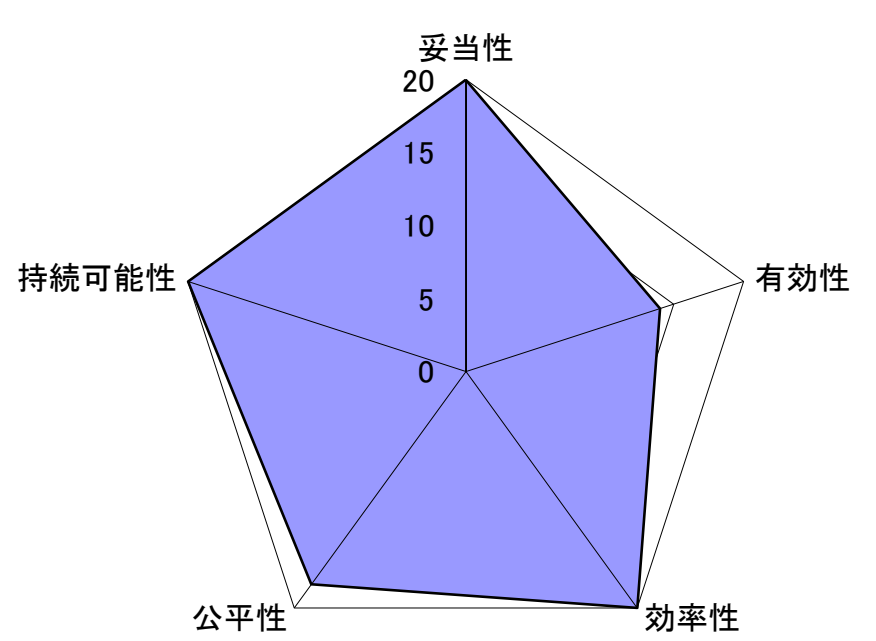
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00454
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>社会福祉法人が行う低所得者への利用者負担額の軽減に対する補助であるが、義務付けされておらず、一部補助であるため、利用者負担額の軽減を実施すると必ず社会福祉法人の減収となり、すべての社会福祉法人が実施していない。また、介護保険は株式会社等の民間企業の参入も認めている中、社会福祉法人の事業所とそれ以外の利用者の中で利用者負担額に差が生じるという問題がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

社会福祉法人の設立趣旨および社会的使命に鑑み、事業拡充の方向で議論が行われています。



## 事務事業評価調書

事務事業名	第1号被保険者還付加算金事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護保険料の改定											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法、吹田市介護保険条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市の第1号被保険者(65歳以上の人)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	税更正などにより発生した介護保険料過誤納金を適正に返還します。												
(7) 事業概要	税更正などにより発生した介護保険料還付金のうち、その還付金に還付加算金を加算して過誤納金を適正に返還します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	4	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		133	83	100	100	100							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	428	408	451	451	442						
	総事業費(A+B)		561	491	551	551	542							
	特定財源(C)		0	407	451	451	442							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	407	451	451	442							
	市負担(D)		561	83	100	100	100							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	561	83	100	100	100							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		561	490	551	551	542								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	償還金	目標値	(単位:円)	133,000.00	100,000.00	/
			実績値	(単位:円)	102,800.00	63,900.00		
		達成度(%)			77.3	63.9		
	目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	介護保険料還付金に還付加算金を加算し適正に返還することで、適正な介護保険制度を実施しています。			達成状況	達成できています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険法に基づく事業であり、行政が直営で実施すべき事業である。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	第1号被保険者還付加算金事業(介護保険料特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	01110				

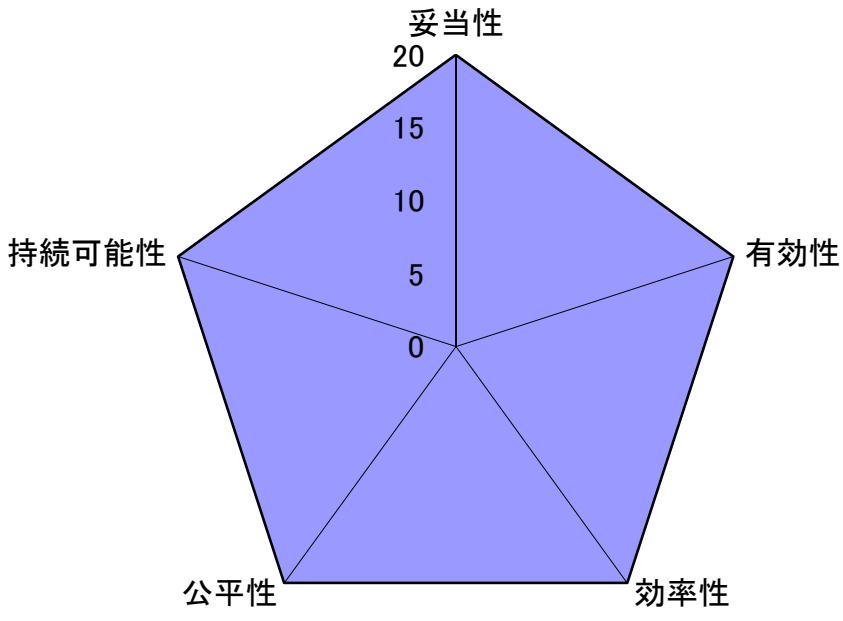
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	100	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01110
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度運営の財源確保のため、第1号被保険者(65歳以上の方)に対し、介護保険料の賦課・徴収を行っています。介護保険料については、①過誤納金が発生する。②還付期限が介護保険法により2年と規定されている等により、本事業を実施する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度以降に賦課決定された保険料については、当該年度における最初の保険料の納期の翌日から起算して、二年を経過した日以降については更正することができない旨が規定された。

## 事務事業評価調書

事務事業名	高齢者いこいの間改修事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	吹田市高齢者いこいの間設置運営要項						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 2	細節 10			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	高齢者いこいの間					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、親睦及びレクリエーション等のために各地区に設置している高齢者いこいの間の必要な改修工事を実施します。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者いこいの間を安心・安全、快適に利用できます。						
(7)	事業概要	35か所の高齢者いこいの間について、年次的・計画的に改修を行うことにより、地区高齢者の活動拠点の環境整備を図ります。						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		0	0	0	0	23,350
		人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
			総額(B)	0	0	0	0	1,634
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	24,984
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	23,350
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	0		0	0	0	23,350		
財源計(C+D)		0	0	0	0	23,350		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	未定			
				②				
				③				
		主な委託内容		全面、屋上防水、外壁改修工事				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 工事請負費等	目標値	(単位:円)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 予算額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	公民館等の複合施設の改修計画とも連携し、毎年1館ずつを目安に改修を実施することで、高齢者が安全な場所で安心して高齢者間の交流を深めることができます。			達成状況	平成28年度に、片山、東佐井寺、佐井寺、千里新田、山五、北山田地区高齢者いこいの間の改修工事を行います。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成26年度(2014年度)、平成27年度(2015年度)は、東地区高齢者いこいの間改修工事を実施しています(事務事業番号00393)。老朽化した施設を年次的に改修することにより、各地区高齢者いこいの間の利用促進につながるため、継続とします。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの間改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01296				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>96</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01296
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

毎年1館ずつ全面改修工事を実施していますが、各施設の老朽化が進んでいます。  
 毎年、一般建築物の施設点検(簡易点検)を実施する中で、各地区高齢者いこいの間の建築物の不具合は、資産経営室に報告しています。  
 改修工事は、安心・安全、快適な施設となるよう、適切な時期に実施する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>安全で安心して利用できる施設となるよう、平成28年度(2016年度)に、片山、東佐井寺、佐井寺、千里新田、山五、北山田地区高齢者いこいの間の改修工事を行います。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	山手地区高齢者いこいの間新築事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	吹田市高齢者いこいの間設置運営要項							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 2	細節 10				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	山手地区高齢者いこいの間						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、親睦及びレクリエーション等のために設置している高齢者いこいの間について、新築建替工事を実施します。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	老朽化施設を建て替えることにより、安心・安全、快適に利用できます。							
(7)	事業概要	地区公民館への併設により新築建て替えを行うことにより、地区高齢者の活動拠点の環境整備を図ります。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	未定				
				②					
				③					
		主な委託内容		新築工事					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 工事請負費等	目標値	(単位:円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 予算額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	公民館と併設することで、施設間の連携及び地域活動の活性化が期待でき、地区高齢者の利用促進につながります。			達成状況	平成29年度に公民館と併設する新築建替工事を予定しています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成28年度(2016年度)に公民館と併設する実施設計を実施(予算は公民館所管課で執行)します。平成29年度(2017年度)に公民館と併設する新築建替工事を実施する予定です。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	山手地区高齢者いこいの間新築事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01297				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01297
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

山手地区高齢者いこいの間は、山手地区の北部に位置しており、地理的要因から利用者に偏りがあるため、地区高齢者の交流・コミュニケーションが図りにくいという問題がありました。公民館と高齢者いこいの間を合築することにより、施設としての利便性が格段に増加するほか、両施設が連携することで地域活動の活性化を図ることができます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>老朽化した施設を移転新築することで、施設利用を促進し、高齢者の地域活動の活性化を図るため、平成28年度(2016年度)に設計委託(併設している公民館所管のまなびの支援課が予算措置)を行い、平成29年度(2017年度)に公民館と合築・併設館として新築建替工事を行う予定です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護保険情報提供事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正内容	介護保険制度改正						
(2)	直近の改正	平成24年度								
(3)	根拠法令等	介護保険法								
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30		
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
		範囲等	全市民							
		目標(どういう状態にしたいのか)	介護保険の各種サービスに関する具体的な情報を提供し、適切なサービスの選択につなげます。							
	結果(どのような効果が得られるのか)	介護保険制度を周知し、サービス利用の促進を適切に行うことができます。								
(7)	事業概要	3年毎の介護保険制度の改正によるサービス内容の情報パンフレットを作成し、市民への配布により情報を提供します。								
(8)	H27事業別予算コード	会計	12	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		0	0	4,067	4,067	0		
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	
			総額(B)	千円	0	0	451	423	0	
		総事業費(A+B)		0	0	4,518	4,490	0		
		特定財源(C)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	国		0	0	0	0	0	
			府		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	0	4,067	4,067	0		
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	4,067	4,067	0	
一般財源			0	0	0	0	0			
財源計(C+D)		0	0	4,067	4,067	0				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施								
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	出版社・印刷業者等					
				②						
				③						
		主な委託内容		パンフレットの印刷						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	作成部数	目標値	(単位:部)	0.00	20,000.00	/
			実績値	(単位:部)	0.00	20,000.00		
		達成度(%)		0.0	100.0			
	目標値の積算方法	窓口等で配布する数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.20		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	多くの方に介護保険の各種サービスに関する具体的な情報を提供することで、適切なサービスの利用につながっています。			達成状況	平成25、26年度は実施がありません。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		介護保険制度や制度改正によるサービス内容変更などの情報を掲載したパンフレットを作成・配布することで、市民への制度周知を図り、介護保険制度に対する理解を得ることができます。平成27年度の法改正で、介護予防給付の一部が新しい総合事業(地域支援事業)へ移行したり、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に上がるなど、市民の方にとって大きく影響のある改正があり、特に周知が重要であると考えます。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護保険情報提供事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	01298				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01298
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険は制度開始から15年を経過していますが、3年ごとに制度改正がある複雑な制度であり、保険料と公費で運営されていることから市民に制度周知を行い理解を求める必要があると考えています。前回改正までは前年度予算で実施していましたが、掲載内容が年度末に確定するため、パンフレット作成及び配布が厳しいスケジュールとなっていました。今回の27年度改正から、より確実な事業実施とするため改正年度の当初に実施することとしました。また、費用対効果を考慮し、全戸配布から窓口配布と変更し、市の広報誌など他の媒体も活用しながら情報提供を進めていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の法改正は、介護予防給付の一部が新しい総合事業(地域支援事業)へ移行したり、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に上がるなど、市民の方への影響が大きいことから、必要な周知に努めました。



## 事務事業評価調書

事務事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成18年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	介護保険法 吹田市介護保険法施行条例							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 4	細節 12				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	概ね65歳以上の高齢者とその家族、介護者等						
		目標(どういう状態にしたいのか)	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるようにすること。						
	結果(どのような効果が得られるのか)	地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を図る。							
(7)	事業概要	<p>地域包括ケアシステムの上回る事業。                      地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門性や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワークを構築しつつ、個別サービスのコーディネートも行います。</p> <p>1 総合相談支援業務 ○地域におけるネットワーク構築 ○総合相談支援等                      2 権利擁護業務 ○高齢者虐待への対応 ○成年後見制度の活用等                      3 包括的・継続的ケアマネジメント業務 ○地域のケアマネ支援とネットワークの構築                      4 介護予防ケアマネジメント ○二次予防事業対象者への支援</p>							
(8)	H27事業別予算コード	会計 12	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		973	909	1,109	1,013	17,831	
		人件費	職員数	人	0.20	3.00	0.20	0.20	0.20
			総額(B)	千円	1,712	25,674	1,801	1,691	1,768
		総事業費(A+B)		2,685	26,583	2,910	2,704	19,599	
		特定財源(C)		2,156	21,422	2,342	0	0	
		(内訳)	国	1,060	10,323	1,134	0	0	
			府	529	5,161	568	0	0	
			その他	567	5,938	640	0	0	
		市負担(D)		529	5,161	568	1,013	17,831	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	529		5,161	568	1,013	17,831			
財源計(C+D)		2,685	26,583	2,910	1,013	17,831			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 包括的支援業務相談件数	目標値	(単位:回)	837.00	910.00	733.00	
			実績値	(単位:回)	910.00	733.00		
			達成度(%)		108.7	80.5		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		29.21	1.38	
				一般財源(単位:千円)		5.67	1.38	
	②	指標内容 吹田市ケアネット実務者懇話会開催回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	2.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
目標値の積算方法		前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13,291.50	506.50	
	一般財源(単位:千円)				2,580.50	506.50		
(2) 成果指標	①	指標内容 包括的支援業務相談件数(総合相談、権利擁護、ケアマネ支援の相談件数)	目標値	(単位:件)	837.00	910.00	733.00	
			実績値	(単位:件)	910.00	733.00		
			達成度(%)		108.7	80.5		
	目標値の積算方法	前年度の実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		29.21	1.38	
				一般財源(単位:千円)		5.67	1.38	
	②	指標内容 吹田市域ケアネット実務者懇話会参加数	目標値	(単位:人)	83.00	90.00	87.00	
			実績値	(単位:人)	90.00	87.00		
			達成度(%)		108.4	96.7		
目標値の積算方法		前年度の実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		295.37	11.64	
	一般財源(単位:千円)				57.34	11.64		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>南吹田地域を担当する包括として、成果指標に示したとおり相談件数が増加しています。基幹型包括として、担当地域以外からの相談件数も増加しており、高齢者支援の窓口として定着しつつあると認識しています。</p> <p>ケアマネ支援としてスタートした吹田市域ケアネット実務者懇話会も、新たに市内12か所の病院地域連携室の参加をはじめ、歯科医師会、薬剤師会も加わり、在宅医療・介護連携による高齢者支援の地域ネットワークが広がりました。</p> <p>その他にも、権利擁護業務として、消費者被害防止の取組等、他のネットワークも広がりつつあります。引き続き、基幹型包括として、包括的支援事業の実施に取り組む必要があると考えています。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	包括的支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01373				

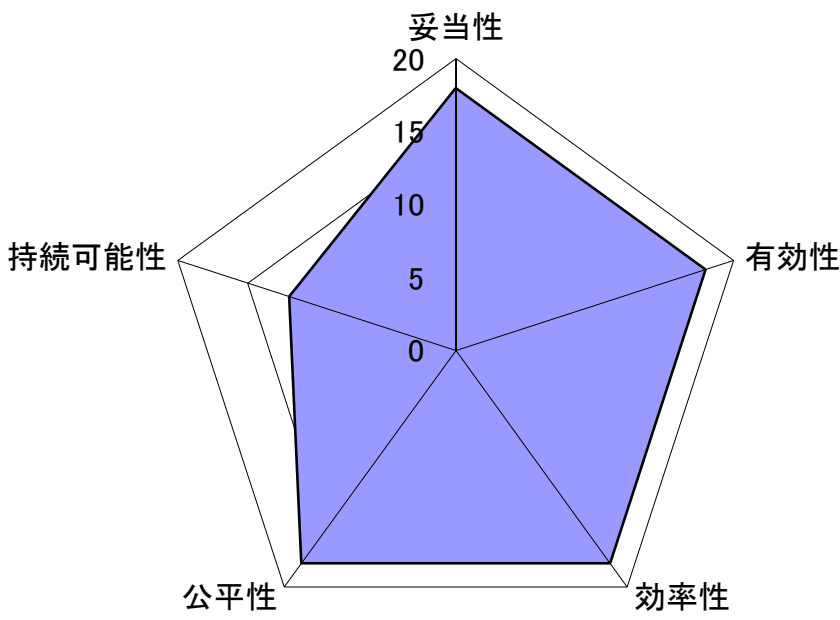
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01373
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>これまで、包括的支援事業は、基幹型包括としてその役割を果たしてきていると思います。介護保険法が改正され、包括的支援事業に、新たに在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業、地域ケア会議推進事業が位置付けされました。本市においても、これらの事業に順次取り組んでいくことで、事業費は増加することになります。制度設計、運営方針、進捗管理等は市の役割となりますが、具体的な事業の担い手については十分検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年介護保険制度改正において、包括的支援事業に4事業が追加されたことに伴い、地域包括支援センターの機能強化が求められています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	救急医療情報キット配布事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正 内容	庶務担当室名の変更											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市救急医療情報キット配布事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯に属する者 日中、一人になることがある、おおむね65歳以上の高齢者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	万一の緊急時に、適切で迅速な救命活動が受けられる体制を確保します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ひとり暮らし高齢者等の安心安全な暮らしが確保されます。													
(7)	事業概要	<p>おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、万一の緊急時の備えとして救急医療情報キットの配布を無償で行います。キットとは、医療情報などを入れた専用保管容器のことで、自宅の冷蔵庫に保管することにより、かけつけた救急隊員がキットの情報を活用して、より適格な救命活動を行うことができます。多くの方に利用していただくため、民生委員・児童委員を通じての配布や、市報やリーフレットを作成し、関係機関への設置を行い、事業の周知を行います。平成26年度より、キットの配布対象者以外の人もキットを作成できるよう、ホームページで様式等のダウンロードを開始しました。また、外出時に救急搬送される際に活用するための救急医療情報カードの配布を開始しました。</p> <p>なお、本事業は平成25年度及び平成26年度は一般会計で実施しました。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1	0	182	141	68							
		人件費	職員数	人	0.15	0.00	0.20	0.20	0.10						
			総額(B)	千円	1,284	0	1,801	1,691	884						
		総事業費(A+B)		1,285	0	1,983	1,832	952							
		特定財源(C)		0	0	182	141	939							
		(内訳)	国	0	0	70	54	372							
			府	0	0	35	27	185							
			その他	0	0	77	60	382							
		市負担(D)		1	0	0	0	13							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	13									
一般財源	1		0	0	0	0									
財源計(C+D)		1	0	182	141	952									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救急医療情報キット延申請者数	目標値	(単位:人)	13,000.00	12,500.00	14,500.00
			実績値	(単位:人)	10,789.00	12,027.00		
		達成度(%)				83.0	96.2	
	目標値の積算方法	第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標値(第5期の目標値は初年度で達成したため、平成26年度は実績による)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.12	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.12	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	救急隊員が救急医療情報キットを活用した件数	目標値	(単位:件)	12.00	12.00	12.00
			実績値	(単位:件)	21.00	16.00		
		達成度(%)				175.0	133.3	
	目標値の積算方法	月あたり1件の活用とします	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		59.14	8.81	
				一般財源(単位:千円)		59.14	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高齢者人口が増加し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、昼間独居の高齢者等の増加が見込まれる中、高齢者の安心・安全を守る取組を実施することは非常に重要です。このような状況のなか、本事業を実施することで、円滑な救命活動の実施と高齢者の安心・安全な暮らしの実現に寄与しています。平成26年度からは、より多くの市民の安心・安全な暮らしの実現をめざし、キットの配布対象者以外の人もキットを作成できるようホームページで様式等のダウンロードを開始するとともに、外出時に搬送される際に活用するための救急医療情報カードの配布を開始しました。今後も多くの必要とされている方にキットを活用していただくため、周知に努め、普及推進を図ります。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	救急医療情報キット配布事業	事業区分	その他
事務事業番号	01430				

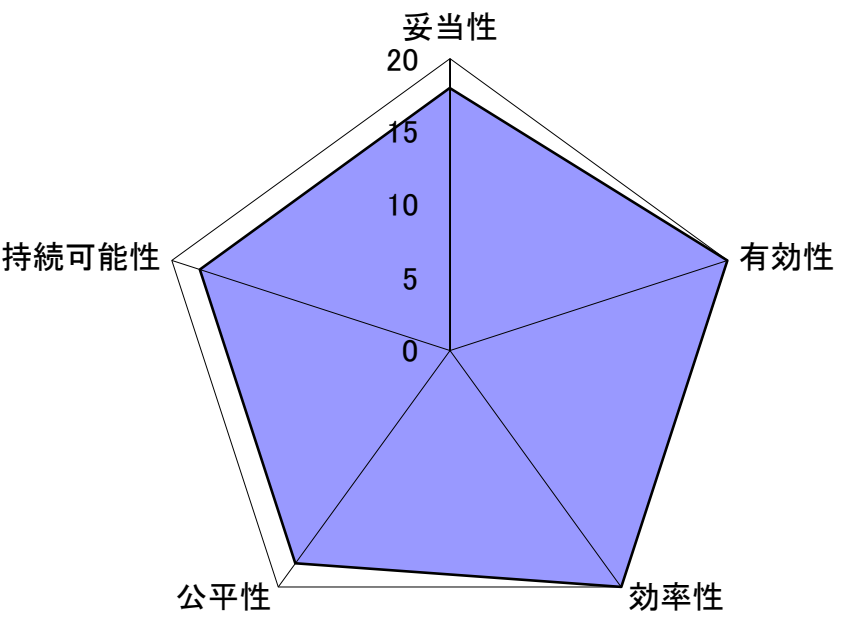
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01430
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度から開始した事業ですが、当初の目標値を大幅に上回る申請者数となっています。万一の緊急時に備えて、自助努力で、自身の安心・安全を守るためのものであり、その意識啓発という観点からも、重要な事業であると考えています。平成24年12月に実施要領を改正し、対象者をより明確にしたことにより、高齢者のみの世帯、昼間独居の世帯にも配布しています。また、救急隊員のキット延利用件数も平成27年度末で107件となり、迅速な救急活動に役立っているものと考えます。平成26年度からは、キットの配布対象者以外の人でもキットを作成できるようホームページで様式等のダウンロードを開始するとともに、外出時に搬送される際に活用するための救急医療情報カードの配布を開始し、より多くの市民の安心・安全につながる事業として展開しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容	包括的支援事業として、在宅医療・介護連携推進事業が位置づけられた。 吹田市在宅医療介護連携推進協議会準備会設置要領の廃止											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法 吹田市在宅医療介護連携推進協議会準備会設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	高齢者等。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	在宅医療・介護連携推進事業をすすめていくための在宅医療・介護連携推進協議会準備会を設置し、3回実施し、在宅医療・介護連携にかかる課題の抽出を行いました。												
(7) 事業概要	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、介護保険法改正により、平成30年4月には、すべての市町村において、在宅医療・介護連携推進事業として8つの事業を実施することになりました。在宅医療と介護の連携を促進するため、在宅医療の現状について共通認識を深め、連携の方法や取組等について検討、協議、進捗管理を行う場として「吹田市在宅医療・介護連携推進協議会」(平成27年度は準備会)を設置します。在宅医療・介護連携推進事業に位置づけされている、在宅医療・介護連携にかかる課題の抽出と地域の医療・介護の資源把握を行うとともに、在宅医療・介護連携についての市の方針の検討や、その他の事業の具体的な実施方法等について検討します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	289	173	359							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.07	1.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	592	8,835						
	総事業費(A+B)		0	0	289	765	9,194							
	特定財源(C)		0	0	233	140	9,123							
	(内訳)	国		0	0	113	67	3,585						
		府		0	0	56	33	1,794						
		その他		0	0	64	40	3,744						
	市負担(D)		0	0	56	33	71							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	71						
一般財源		0	0	56	33	0								
財源計(C+D)		0	0	289	173	9,194								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市在宅医療・介護連携推進協議会準備会の開催。平成28年度は同協議会の開催。	目標値	(単位:回)	0.00	3.00	2.00
			実績値	(単位:回)	0.00	3.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	開催回数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	57.67	11.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	11.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 在宅医療介護連携推進事業で取組む8事業のうち、実施できた事業数	目標値	(単位:回)	0.00	2.00
	実績値			(単位:回)	0.00	1.00	
	達成度(%)			0.0	50.0		
	目標値の積算方法	実施事業数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	173.00	33.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	33.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		3回の準備会における検討を経て、在宅医療・介護連携の課題への対応策のまとめを行いました。具体的には在宅医療を推進していくために必要な医師や訪問看護ステーション等の支援体制整備、入退院時の支援システムの確立、在宅生活を支えるための人材育成、市民への在宅療養や終活等の啓発を行うこと等の具体的対策や取組内容についてまとめました。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	在宅医療・介護連携推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01431				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01431
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度は、在宅医療介護連携推進協議会準備会を立ち上げ、連携の課題抽出と対応策の検討を行いました。平成28年度の、協議会をたちあげ、準備会で検討したした内容を引継ぎ、具体策の検討を行います。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度に介護保険法が改正され、包括的支援事業に、新たに在宅医療・介護連携推進事業が位置付けられました。本市においても、これらの事業に順次取り組んでいくことで、事業費は増加することになります。制度設計、運営方針、進捗管理等は市の役割となりますが、具体的な事業の検討については、協議会と、吹田市域ケアネット実務者懇話会において進めることとなります。健康医療部地域医療推進室との連携も必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年介護保険制度改正により、地域支援事業に新たに位置づけられた事業であり、平成30年4月までに8つの事業を実施すること必要があります。「吹田市まち・4ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標4の「基本方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」に向けた取組位置付けています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	生活支援体制整備事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	吹田市高齢者生活支援体制整備協議会準備会設置要領の廃止											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法、吹田市高齢者生活支援体制整備協議会設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	0							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	65歳以上の高齢者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者の日常生活における多様なニーズに対応した、NPOやボランティアなどの地域の多様な主体や、高齢者自身による生活支援サービスを充実させます。												
(7) 事業概要	<p>高齢者の日常生活における多様なニーズに対応し、NPOやボランティアなどの地域の多様な主体や、高齢者自身による生活支援サービスを提供するため、介護保険法改正により、平成30年4月までに、協議体や生活支援コーディネーター等の設置を通じて、生活支援サービスの体制整備を行うことになりました。</p> <p>そのため、「吹田市高齢者生活支援体制整備協議会」(平成27年度は準備会)を設置し、生活支援サービスの担い手が定期的な情報共有及び連携・協働を行うとともに、ボランティア等の生活支援の担い手を養成・発掘する等の地域資源の開発やそのネットワーク化を担う「広域型生活支援コーディネーター」を配置しました。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	0	254	11,362							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	7,952						
	総事業費(A+B)		0	0	0	254	19,314							
	特定財源(C)		0	0	0	254	19,314							
	(内訳)	国	0	0	0	100	7,532							
		府	0	0	0	50	3,766							
		その他	0	0	0	104	8,016							
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0								
	その他	0	0	0	0	0								
	一般財源	0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		0	0	0	254	19,314								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 生活支援体制整備に向けた高齢者生活支援体制整備協議会(平成27年度は準備会)の開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	3.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	3.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	検討内容による会議の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	84.67	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	地域における高齢者の生活支援サービスに関する状況や課題についての把握を行うとともに、生活支援サービスの担い手の情報共有を行いました。			達成状況	平成28年度に配置する広域型生活支援コーディネーターの活動内容を決めました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>高齢者の生活支援のための体制整備として、協議体の設置と広域型生活支援コーディネーターの配置を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために高齢者を支えあう地域づくりをめざしていくものであり、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となる平成37年に向けた地域包括ケアシステム構築のために必要な事業です。</p> <p>本事業は政策課題(mission24)の1(1)「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。また、「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標4の「基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」に向けた取組として位置付けています。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	生活支援体制整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01432				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01432
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

事業費、市負担については増大しますが、地域支援事業の上限内で実施するものであり、一般財源の増大はありません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、高齢者の日常生活における多様なニーズに対応した生活支援サービスの体制整備を行うため、高齢者生活支援体制整備協議会準備会を立ち上げ、生活支援サービスに関する状況把握や、広域型生活支援コーディネーターの活動内容の検討を行いました。今後は、協議会において地域資源の把握や必要な生活支援サービスの把握を行うとともに、広域型生活支援コーディネーターを配置し、生活支援体制の整備を進めていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険法改正により、地域支援事業に新たに位置づけられた事業であり、平成30年4月までにすべての市町村において、生活支援サービスの体制整備を行う必要があります。  
 本事業は政策課題1(1)「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。また、「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標4の「基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」に向けた取組として位置付けています。



## 事務事業評価調書

事務事業名	認知症地域サポート事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正内容	平成25、26年度の2年間、モデル地域における徘徊高齢者探索模擬訓練等の具体的な取組を実践したことを踏まえ、本年度から事業実施とした。											
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	吹田市認知症地域サポート事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	13							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域住民(連合自治会)、民生・児童委員、地区福祉委員等、高齢者支援事業者、吹田警察署、吹田市消防本部、小・中学校、社会福祉協議会、認知症サポーター、地域包括支援センター等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者支援事業者等の事例対応能力の向上、認知症についての正しい理解の啓発、地域住民を巻き込んだネットワークの構築												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	認知症の人と家族を地域で支え見守るネットワークの構築												
(7)	事業概要	地域における高齢者や認知症高齢者の見守り体制に係る事業と連動させながら、徘徊高齢者探索模擬訓練等の実践的な取組をモデル地域で行ったことをまとめ、市域全体で認知症高齢者を見守り、支えていく仕組みをつくります。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	7	小事業	3
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	296	212	276							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	0	0	901	846	884						
		総事業費(A+B)		0	0	1,197	1,058	1,160							
		特定財源(C)		0	0	0	171	1,106							
		(内訳)	国		0	0	0	82	453						
			府		0	0	0	41	226						
			その他		0	0	0	48	427						
		市負担(D)		0	0	296	41	54							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	54						
			一般財源		0	0	296	41	0						
財源計(C+D)		0	0	296	212	1,160									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 おおむね小学校区単位の2地域で事業実施。	目標値	(単位:)	0.00	2.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	2.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 実施地域を担当する地域包括支援センターと協働で取り組む必要があるため。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	106.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	20.50		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 徘徊搜索模擬訓練の参加者数。 (西山田地区108人、岸部地区107人)	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	215.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 参加人数の実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.99		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.19		
	②	指標内容 上記地区における報告会・意見交換会参加者数。(西山田地区35人、岸部地区17人)及び高齢者見守り体制づくり講演会参加者数	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	187.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1.13			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.22			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成25年度、26年度の2年間のモデル事業の取組を経て、住民が主体となった認知症地域サポート事業として、実践するためのマニュアルを作成しました。事業を実施した2地域では、マニュアルや地域包括支援センターも含めた実行委員会で地域の特性をいかした事業を実施しました。地域住民や学校を対象にした認知症サポーター養成講座、高齢者見守り事業者等支え手となる地域住民同士のネットワーク構築等が本事業に取り組んだことでさらに深まりました。また、高齢者見守り体制づくり講演会において活動報告することで、他の地域への広がりもみられます。引き続き、吹田市全域で、地域住民とともに認知症の人を見守り支えていく仕組みづくりを進めていきます。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認知症地域サポート事業	事業区分	その他
事務事業番号	01433				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01433
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度は徘徊高齢者探索模擬訓練を岸部地区と西山田地区で2か所で行いました。模擬訓練を実施する前に認知症サポーター養成講座を取組み、地域住民を巻き込んだネットワークづくりをすることで、実際の事例発生時の対応能力の向上と、認知症の人を支えていく地域づくりができます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

認知症施策推進総合戦略【新オレンジプラン】の7つの柱の一つに「認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進」が位置付けられました。

## 事務事業評価調書

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	介護保険法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	75歳以上の要介護認定を受けていない高齢者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	二次予防事業(介護予防事業)の対象者を把握し、介護予防事業への参加を促し、75歳以上の高齢者が要介護状態にならないように元気で過ごすことを支援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者が、住み慣れた地域で、意欲をもって生活することで、介護給付費の伸びを抑制することができる。													
(7)	事業概要	75歳以上の高齢者に対して、郵送にて介護予防事業アンケートを個別通知し、虚弱な高齢者を把握し、介護予防事業への参加を勧奨する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	1	目	1	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	23,340	8,653	11,102							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	0	0	901	846	884						
		総事業費(A+B)		0	0	24,241	9,499	11,986							
		特定財源(C)		0	0	20,424	7,572	10,600							
		(内訳)	国		0	0	5,830	2,163	2,995						
			府		0	0	2,916	1,081	1,497						
			その他		0	0	11,678	4,328	6,108						
		市負担(D)		0	0	2,916	1,081	1,386							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	2,916	1,081	1,386						
一般財源			0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		0	0	23,340	8,653	11,986									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)エストコーポレーション										
				②											
				③											
		主な委託内容		75歳以上の高齢者にアンケートを郵送											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	介護予防事業アンケート実施者数	目標値	(単位:)	0.00	70.00	80.80
			実績値	(単位:)	0.00	80.80	/	
		達成度(%)		0.0	115.4			
	目標値の積算方法	対象高齢者の70%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	107.09		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	二次予防事業対象者の把握数	目標値	(単位:)	0.00	17.50	27.20
			実績値	(単位:)	0.00	27.20	/	
		達成度(%)		0.0	155.4			
	目標値の積算方法	対象者の17.5%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	318.13		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、二次予防事業対象者把握事業は廃止します。					

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	二次予防事業対象者把握事業	事業区分	その他
事務事業番号	01434				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01434
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的な・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、本事業については、平成28年度で廃止いたします。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護予防事業における、二次予防事業対象者を把握する事業であり、平成27年度から介護予防事業アンケートを郵送・回収し、アンケート結果を送付するとともに、二次予防事業対象者には、介護予防事業の案内を送付しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的な・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、二次予防事業対象者把握事業は廃止します。



## 事務事業評価調書

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	地域支援事業 包括的支援事業に位置付けられた。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	13							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	40歳以上で在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる者又は認知症の者で、医療サービスや介護サービスを受けていない、又は中断している者等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	認知症の人やその家族を早期から支援することで、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることを可能にする。 高齢者福祉の増進												
(7) 事業概要	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。平成27年度に設置準備のための設置検討委員会を設置して検討を進め、平成29年度より認知症初期集中支援チームによる支援を実施する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	155	145	161							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.90	0.90	0.90						
		総額(B)	千円	0	0	8,103	7,606	7,952						
	総事業費(A+B)		0	0	8,258	7,751	8,113							
	特定財源(C)		0	0	125	117	8,081							
	(内訳)	国		0	0	60	56	3,163						
		府		0	0	30	28	1,583						
		その他		0	0	35	33	3,335						
	市負担(D)		0	0	30	28	32							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	32						
一般財源		0	0	30	28	0								
財源計(C+D)		0	0	155	145	8,113								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 認知症初期集中支援チーム設置検討委員会の開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	3.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	3.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	48.33	
				一般財源(単位:千円)	0.00	9.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	認知症初期集中支援チーム設置検討委員会を開催し、認知症初期集中支援チーム設置に向け、事業内容等について検討しました。			目標	年3回
	②	成果内容	認知症初期集中支援チーム設置検討委員会を開催し、認知症初期集中支援チームの業務内容や委託事業者選定に向けた今後のスケジュール等について検討し具体化を進めました。			達成状況	年3回実施
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成29年度の認知症初期集中支援チームによる認知症支援の実施に向け、平成27年度は学識経験者等外部委員を含めた委員で構成された認知症初期集中支援チーム設置検討委員会を設置し、認知症対策に関するこれまでの市の取組や支援チームの業務内容、普及啓発方法、委託事業者選定スケジュール等について検討・具体化しました。 設置検討委員会での検討結果を基に平成28年度は本設置検討委員会で委託事業者の選定方法等について検討するほか、事業者選定会議を設置して委託事業者を選定し、平成29年度に認知症初期集中支援チーム業務を開始します。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認知症初期集中支援推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01435				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01435
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年4月の認知症初期集中支援チームの業務開始に向けて、平成27年10月から支援チームの業務内容や業務に伴う専門的なアセスメント方法等の実務に関する事、支援チームの市民及び関係機関に対しての普及・啓発方法等について、学識経験者等外部委員からなる設置検討委員会において専門的な見地からの意見を3回にわたっていただきました。平成28年度は事業者選定に向けてのスケジュールをもとに、公募のための募集要項、選定基準、応募様式等について、2回の設置検討委員会で意見をいただき、6月には市職員で構成される選定会議で、決定していく予定です。8月には市報やホームページで委託事業者を公募し、10月には、書類審査、プレゼンテーション審査を経て、11月には受託候補者を決定します。平成29年4月の業務開始に向けて、市民や関係機関への啓発のための準備や業務開始前の研修等、受託候補者と相談しながら、業務開始の準備をすすめていく予定です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度包括的支援事業に認知症施策推進事業が位置付けされました。本市においては、平成29年度に認知症初期集中支援推進事業を委託型地域包括支援センター運営業務受託法人に委託実施することを目標に、平成28年度のプロポーザル方式による公募を予定しています。制度設計、運営方針、進捗管理等は市の役割となりますので、認知症地域支援・ケア向上事業と一体的な準備や検討を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年介護保険制度改正において、包括的支援事業に新たに4事業が追加され実施が義務付けられました。認知症初期集中支援推進事業は、その4事業の1つ、認知症施策推進事業として実施するものです。「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基本目標4誰もが安心して暮らせる「高齢社会」が実現するまち基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに取組を位置付けています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	地域支援事業 包括的支援事業に位置づけされた。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	13							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	高齢者を含む一般市民、介護保険事業者、医療機関等関係機関。											
	結果(どのような効果が得られるのか)	認知症ケアパスを作成し、市報とともに全戸配布した。また、医療機関や介護等の関係者に広く普及啓発を行いました。												
(7) 事業概要	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、認知症の容態の変化に応じ、すべての期間を通じて、必要な医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築することが重要です。このため、市町村において医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を配置し、当該推進員を医療・介護の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図ります。													
(8) H27事業別予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	2	中事業	4	小事業	2
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	0	1,714	129							
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.90	0.90							
		総額(B)	0	0	0	7,606	7,952							
	総事業費(A+B)		0	0	0	9,320	8,081							
	特定財源(C)		0	0	0	0	8,056							
	(内訳)	国	0	0	0	0	3,152							
		府	0	0	0	0	1,576							
		その他	0	0	0	0	3,328							
	市負担(D)		0	0	0	1,714	25							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	25							
一般財源		0	0	0	1,714	0								
財源計(C+D)		0	0	0	1,714	8,081								
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)ヤマツーナッジ										
			②											
			③											
	主な委託内容		認知症ケアパスの市報への挟み込みと配付											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 認知症ケアパスの発行。	目標値	(単位:回)	0.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	1.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	発行回数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,714.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	1,714.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 認知症ケアパスの作成。	目標値	(単位:回)	0.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	1.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	認知症ケアパスの発行回数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,714.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	1,714.00		
	②	指標内容 平成27年度は認知症ケアパス配布数。 平成28年度は啓発チラシの配布数。	目標値	(単位:部)	0.00	174,000.00	
実績値			(単位:部)	0.00	172,711.00		
達成度(%)			0.0	99.3			
目標値の積算方法	平成27年度は市報挟み込みによる全戸配布及び関係機関等への配布数。平成28年度はケアパスの一部修正、ホームページへの掲載	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.01		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.01			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるよう医療機関、介護サービス事業者、認知症サポーター等地域において、適切な医療や介護サービス提供の流れを示した認知症ケアパスを作成し、広く市民や関係機関に啓発普及ができました。				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認知症地域支援・ケア向上事業	事業区分	その他
事務事業番号	01436				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01436
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度は認知症地域支援・ケア向上事業の認知症ケアパスを作成し、普及に努めました。平成29年4月の認知症地域支援推進員の配置に向けて、平成28年度は、学識経験者等外部委員からなる部会を設置し、事業者選定に向けたスケジュールをもとに、専門的な見地からの推進員の業務や取り組むべき業務の優先度、公募のための募集要項、選定基準、応募様式等について、意見をいただき、6月の市職員で構成される選定会議で決定していく予定です。8月には市報やホームページで委託事業者を公募し、10月には、書類審査、プレゼンテーション審査を経て、11月には受託候補者を決定します。平成29年4月の推進員配置に向けて、市民や関係機関への啓発のための準備や業務開始前の研修等、受託候補者と相談しながら、活動開始の準備をすすめる予定です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度包括的支援事業に認知症施策推進事業が位置付けされました。本市においては、平成29年度に認知症地域支援・ケア向上事業を担う認知症地域支援推進員業務を委託型地域包括支援センター運営業務受託法人に委託しての配置を目標に平成28年度のプロポーザル方式による公募を予定しています。制度設計、運営方針、進捗管理等は市の役割となりますので、認知症初期集中推進事業と一体的な準備や検討を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年介護保険制度改正において、包括的支援事業に新たに4事業が追加され実施が義務付けられました。認知症地域支援・ケア向上事業は、その4事業の1つ、認知症施策推進事業として実施するものです。「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基本目標4誰もが安心して暮らせる「高齢社会」が実現するまち基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに取組を位置付けています。



## 事務事業評価調書

事務事業名	高齢者向け複合居住施設用地取得活用事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	2	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	高齢者向け複合居住施設用地						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	高齢者向け複合居住施設用地の取得及び活用						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	民間事業者による高齢者向けウェルネス住宅(平成30年度開設)の整備・運営を通じ、地域の医療・介護・福祉の向上を図る。							
(7)	事業概要	<p>鉄道建設・運輸施設整備支援機構が所有する緑のふれあい交流創生ゾーン2の東側土地(約4,000㎡)について、健康・医療のまちづくりの観点から、在宅医療や福祉関係の事業と一体となった高齢者向け住宅の機能等を有する複合居住施設(高齢者向けウェルネス住宅)とすることを軸に検討を進める。</p> <p>用地取得後は、同用地に高齢者向けウェルネス住宅を整備・運営する民間事業者を公募型プロポーザル方式により選定、同民間事業者と基本協定及び定期借地権設定契約を締結し、同民間事業者が施設の整備及び運営を行う。</p>							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	538,504	496,617	67	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.60	0.20
			総額(B)	千円	0	0	0	4,824	1,634
		総事業費(A+B)		0	0	538,504	501,441	1,701	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	538,504	496,617	67	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	538,504	496,617	67		
財源計(C+D)		0	0	538,504	496,617	67			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	高齢者向けウェルネス住宅用地の取得、民間事業者との定期借地による貸借契約の締結			目標	高齢者向けウェルネス住宅の整備
	②	成果内容	整備後も市が事業者による運営をモニタリングすることによる事業や活動の継続性・安定性の確保			達成状況	地域包括ケアシステムの具現化等地域全体の医療・介護・福祉の質の向上により、地域住民がその価値を最大限享受できる環境の整備
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、政策課題(mission24)「1福祉と医療」に関連する事業であり、かつ吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「基本目標4基本的方向(1)健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸」にも位置付けられる事業である。</p> <p>高齢者向けウェルネス住宅の平成30年度(2018年度)の開設に向けて、事業者の選定等その整備を進めることはもちろん、整備後についても市の事業者に対する継続的なモニタリング実施により事業の安定性を確保することで、地域全体の医療・介護・福祉の向上を図ることが必要と考える。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者向け複合居住施設用地取得活用事業	事業区分	その他
事務事業番号	01488				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01488
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は現在事業者募集の段階であり、今後事業者による整備・運営を通じ、地域包括ケアシステムの具現化等、地域の医療・介護・福祉の向上につながる具体的な成果が表れるものとする。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>北大阪健康医療都市における、地域包括ケアシステムのモデルケースとしての生活習慣病予防や介護予防機能に重点をおいた「高齢者向けウェルネス住宅」の整備・運営は、政策課題(mission24)における「福祉と医療」に関連する事業であり、主要な政策課題に位置付けられるものである。</p> <p>また、吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標「誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち」を達成するための施策「生涯活躍のまち」(健都版CCRC)の取組としても位置付けられているものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

H28年度から予算費目及び事業名称を変更  
(目)社会福祉総務費 ※H27年度は(目)老人福祉費  
「健都ウェルネス住宅推進事業」